## デジタルカメラ 保証書 持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

| 形名 | HDC-531 | ※お買い上げ日 | 保証期間 |
|---|---|---|---|
| | | 平成　年　月　日 | 本体：1年 |
| ※お客様 | ご住所 | 〒　- | |
| | ご芳名 | 様 | |
| ※販売店 | 住所 | 〒　- | |
| | 店名 | TEL | |

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
　(イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
　(ロ)お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
　(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
　(ニ)車輛、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
　(ホ)業務用に使用されて生じた故障または損傷。
　(ヘ)本書のご提示がない場合。
　(ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
2. この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には別紙のご相談窓口一覧表をご覧のうえ、お近くの窓口にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

● この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または別紙のご相談窓口一覧表の窓口にお問い合わせください。
● 保証期間経過後の修理によって使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
● このデジタルカメラの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後3年です。
● 補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。


**株式会社 日立リビングサプライ**

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29(アクロポリス東京)
TEL.03(3260)9611
FAX.03(3260)9739

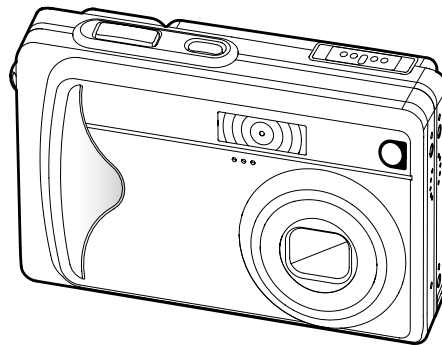

Hitachi Living Systemsは日立リビングサプライの英文社名です。

取扱説明書

**保証書付** 保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。
「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、
販売店からお受け取りください。

# デジタルカメラ

# HDC-531形

このたびは、デジタルカメラ「HDC-531」をお求めいただき、まことにありがとうございました。
ご使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

「とにかく使ってみる」という方へ
目次の1～7の手順でお試しください。

# 目次

## はじめに 6



## 基本操作編 27

カメラの基本的な操作を説明します。本項の内容で、カメラの基本的な操作を行うことができます。



## 応用操作編 63

より細かいカメラの設定内容について説明します。ご使用の目的に応じてお読みください。

## パソコン接続編 107

パソコンに接続して画像ファイルを取り込む方法について説明します。



## プリント編 115

PictBridge（ピクトブリッジ）に対応したプリンタに直接接続して、撮影した画像をプリントする方法について説明します。

## 付録 121

# はじめに

## ■ 安全上のご注意

### 絵表示について

この取扱説明書の表示では、本製品（カメラ本体、ACアダプター、バッテリー、他付属品）を正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろ絵表示しています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

このような絵表示は、していただきたい「注意」内容です。

このような絵表示は、コンセントから必ず「電源プラグを抜く」ことを示します。

**安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。**

**⚠ 警　告**

**異常が起きたら、バッテリーを外す。**
煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。



**ACアダプター使用時に、雷が鳴ったらACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く。**
火災・発火・感電・故障の原因になります。

**移動しながらの撮影は絶対にしない。**
歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの使用はしないでください。転倒、交通事故などの原因になります。

**不安定な場所に置かない。**
バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。

**内部に水や異物を落とさない。**
水・異物が内部に入ったら電池を外す。そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。

**風呂、シャワー室では使用しない。**
火災・感電の原因になります。

**水や海水につけたり、端子部を濡らさない。**
火災・感電の原因になります。

**分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。落としたり、ケースが破損したときは使用しない。**
火災・感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

**火に近づけたり、火の中に投げ込まない。**
破裂・液漏れにより、火災やけがの原因になります。

**指定外のバッテリーおよびACアダプターを使用しない。**
バッテリーの破裂・液漏れにより、火災やけがの原因になります。

**バッテリーを分解、加工、加熱しない。電池を落としたり、衝撃を加えない。バッテリーを金属製品と一緒に保管しない。**
バッテリーの破裂・液漏れにより、火災・けがの原因になります。

**キーホルダーなどの金属類でバッテリーの端子を接触（ショート）させない。**
発熱により、やけど、けがの原因になります。

**指定外の方法でバッテリーを使用しない。**
バッテリーは極性（⊕㊉⊖）表示どおりに入れてください。

## ⚠ 警　告

**お子様の手の届かないところで使用・保管する。**
乳幼児が誤ってバッテリーを飲み込まないよう、乳幼児の手の届かないところで使用・保管してください。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師の治療を受けてください。

**落下などにより、ストロボ部分が破損した場合は、内部には触れない。**
内部が露出した場合は、絶対に手を触れないでください。感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

**ストロボを人の目に近づけて発行しない。**
目の近くでストロボを発光すると、視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影する場合は1m以上離れてください。

## ⚠ 注　意

**コネクタ（端子）部には、指定以外のものを接続しない。**
火災・感電の原因になります。

**大切な画像は、パソコンに取り込み保管する。**
バッテリーの消耗や故障・修理などにより、撮影した画像が消えることがあります。

**飛行機の中など使用が制限または禁止されている場所では、使用しない。**
事故の原因になることがあります。

**油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。**
火災・感電の原因になることがあります。

**異常な高温になる場所に置かない。**
暖房器具の近く、ホットカーペットの上、窓を閉めきった自動車の中や、直接日光に当たる場所に置かないでください。
火災の原因になることがあります。

**本製品の上にものを置かない。**
バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

**ストロボの発光部を手や布で覆ったまま発光しない。**
故障の原因になります。また、連続発光後は発光部に触らないでください。やけどの原因になる場合があります。

**カメラをネックストラップで下げている場合は、他のものに引っ掛かったり、強い衝撃や振動を与えないように注意する。**
けがや本体の故障の原因になります。



## ■ あらかじめご承知頂きたいこと

### 免責事項

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。
- 万一、本機または付属のソフトウェア使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリ内容の消去による、損害及び逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

### 著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

### 商標について

- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDロゴは登録商標です。
- その他記載された社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中には™、®マークは明記しておりません。

## ■ 使用上のご注意

### 使用環境について

使用できる温度の範囲は、0℃〜40℃（結露しないこと）です。

**急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本機の内部や外部に水滴が付く（結露）ことがあります。結露は故障や正常な撮影ができなくなる原因となりますので、ご注意ください。**
**温度差の大きい場所へ移す場合は、結露の発生を防ぐために、本機をビニール袋に入れて密封しておき、周囲の温度になじませてから、袋から取り出してください。また、結露が発生した場合は、故障の原因となりますので、SDメモリーカード、バッテリー、ACアダプターをカメラから取り外し、水滴が消えるまで待ってから、お使いください。**

### ためし撮りについて

必ず事前にためし撮りをし、画像が正常に記録されていることを確認してください。**万一、このカメラやSDメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みがされなかった場合、記録内容の補償については、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。**

### データエラーについて

- 本機は精密な電子部品で構成されており、以下のお取り扱いをすると内部のデータが破損する恐れがありますので、操作にはご注意ください。
  - 通信中にUSBケーブルをはずした。
  - 記録、USB接続中にバッテリー、ACアダプター（付属）をはずした。
  - 記録中にACアダプター（付属）を接続もしくははずした。
  - 消耗したバッテリーを使用し続けた。
  - 電源オンの状態で、SDメモリーカードを出し入れした。
  - その他の異常動作
- 万一の誤消去や破損に備え、大切なデータは別のメディア（MOディスク、ハードディスク、CD-Rなど）へ、バックアップとしてコピーされることをおすすめします。

### メンテナンスについて

- レンズ面がゴミなどで汚れていると、カメラの性能が十分に発揮できません。レンズ面の汚れは、ブロアーでゴミやホコリを吹きとってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーやベンジンなどで拭かないでください。本体の塗装がはげたり、変質する原因になります。

### 液晶モニターについて

- 液晶モニターは、夜間や暗めの室内撮影時などにおいて、センサーから十分な明るさが確保されない場合は、見えにくくなる場合がありますが、故障ではありません。その場合は、なるべく明るい場所へ移動して撮影してください。
- 液晶モニターを強く押さないでください。液晶モニターにムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 液晶モニターは太陽や強い光が当たると、表示が黒くなることがありますが、故障ではありません。
- 液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤、白、青、緑の点が現われたままになる場合があります。これは故障ではありません。記録される画像には影響はありませんので安心してお使いください。
- 使用中に液晶モニターのまわりが熱くなる場合がありますが、故障ではありません。

### SDメモリーカード使用時のご注意

- 本機を使用して撮影する場合は、必ずSDメモリーカード（64MB付属）が必要です（32/64/128/256/512MB対応）。
- （株）アイ・オー・データ機器、（株）ハギワラシスコム、（株）アドテックのSDメモリーカードを推奨します。ご使用の場合は、**SDメモリーカードに付属の取扱説明書をあわせてお読みください。**
- SDメモリーカードの種類によって、処理速度が遅くなる場合があります。
- SDメモリーカードは撮影や消去を繰り返すとデータ処理能力が落ちる場合があります。定期的に**フォーマットする** P105 ことをおすすめします。
- 静電気、電気的ノイズ等により、記録したデータが消滅または破損することがありますので、大切なデータは別のメディア（MOディスク、ハードディスク、CD-Rなど）へ、バックアップとしてコピーされることをおすすめします。
- メモリーカードの接触面（コンタクトエリア）にゴミや異物を付着させないでください。汚れは乾いた柔らかい布などで、軽く拭いてください。

## バッテリー使用時のご注意

- **仕様** P132 を、あわせてお読みください。
- 本製品に同梱のバッテリーは、本機専用の充電式リチウムイオン電池です。
  本機以外で使わないでください。
- バッテリーの充電は、同梱の専用ACアダプターをお使いください。他の充電器では使用できません。
- 充電は0℃～40℃の温度範囲で行ってください。範囲外の温度で充電すると、充電時間が長くなったり、十分な充電ができない場合があります。
- 完全に使い切った状態から、フル充電になるまでの時間は、約120分です（当社測定基準による）。充電時間は、周囲の温度や充電状態によって異なります。
- カメラを長時間使用したあとは、バッテリーが熱くなっておりますので、すぐに取り出さないようにご注意ください。
- バッテリーは未使用時も自己放電します。はじめてお使いになる場合や長時間ご使用にならなかったバッテリーを使用する場合は、必ず充電してから使用してください。
- 寒い場所では、バッテリーの性能が一時的に低下し、使用時間が短くなり場合があります。このようなときは、使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用するとバッテリーの性能が回復することがあります。ただし、このとき、ポケットにキーホルダーなどの金属類は入れないでください。バッテリーがショートする恐れがあります。
- リチウムイオン電池は、充電された状態で長時間保存すると特性が劣化する場合があります。長時間使用しない場合は、使い切った状態で保存してください。
- このバッテリーは、リチウムイオン電池のため、充電する前に使い切ったり、放電する必要はありません。いつでも充電できますが、規定充電回数（寿命）は約300回ですので、なるべく使い切ってから充電することをおすすめします。
- 本機は電源オフ時でも内部時計のバックアップ用として微電流が流れていますので、本機を長時間使用しない場合は、バッテリーを取り出して保存してください。
- バッテリーを持ち運ぶ場合は、端子間がショートしないように、十分ご注意の上、カメラ本体に取り付けるか、お買い上げ時に入っていた袋に入れて持ち運びください。
- ご使用前にバッテリーの端子が汚れていないことを確認してください。汚れている場合は、乾いた布でよく拭いてからご使用ください。
- 不要になったバッテリーは、貴重な資源を守るために、廃棄しないでリサイクル協力店へお持ちください。
  詳細は、「有限責任中間法人 JBRC」のホームページをご覧ください。
  ●ホームページ：http://www.JBRC.com/
  また、不要になったバッテリーは、ショートによる発煙・発火の恐れがありますので、端子をテープ等で絶縁してください。



## ACアダプター使用時のご注意

- 同梱のACアダプターの取扱説明書および**仕様** P132 を、あわせてお読みください。
- 本製品に同梱のACアダプターは、本機専用のACアダプターです。本機以外で使わないでください。
- ACアダプターを使用する場合は、カメラの電源をオフにしてから接続してください。
- 電源プラグおよびミニプラグは、しっかりと差し込んでください。記録、USB接続中に電源コードが外れると、内部のデータが破損する恐れがあります。
- 接続した際はACアダプターのコードをたるませてください。過度な力が加わると端子を破損する恐れがあります。

## ■ 商品概要

本製品は、500万画素CCDイメージセンサー搭載による高画質はもちろん、高解像度でキレイな2.5型の大画面液晶モニターや、光学3倍ズームを搭載し、さらにスリムサイズを実現し、いつでもどこにでも持ち歩ける、初めての方にもやさしいデジタルカメラです。

主な特長は以下の通りです。

**主な特長**

○A4プリントにも対応の500万画素CCDイメージセンサー搭載
○約20万画素の高画質で2.5型LTPS(※1)-TFTカラー液晶モニター搭載
○光学3倍ズーム＆デジタル4倍ズーム撮影（デジタルズーム併用時最大12倍） P42
○初めての方にもやさしい、撮り方シール＆クイックヘルプ内蔵 P24
○保存も安心のSDメモリーカード対応（64MB SDメモリーカード付属） P32
○テレビで見られる、見ながら撮れる、みんなで楽しめるAV出力端子付き
（専用AVケーブル付属） P59
○季節の草花やメモ代わりに便利なマクロ撮影機能（6cm〜） P46
○ボイスメモ撮影 P83 ＆アフレコ機能 P103
○音声付き動画撮影機能 P47
○最大3枚の連写撮影
＆露出の段階を自動的に変えながら撮影するAE連写撮影機能 P86
○多彩なプリセット、マニュアル撮影機能
（ホワイトバランス P81 、露出・逆光補正 P78 、ISO感度 P93 、測光方式 P94 、色効果（鮮明・モノクロ・セピア） P82 、シャープネス P91 、コントラスト P92 等）
○多彩な再生モード
（シングル再生（1倍/2倍/4倍、画像回転） P50 、インデックス再生 P52 、スライドショー再生 P97 、ボイスメモ再生 P104 、動画再生 P53 ）
○ダイレクトプリント可能のPictBridge対応 P115
○長時間使用に便利な外部電源対応（専用ACアダプター付属） P69
○すぐに使えるオールインワンパッケージ P15

（※1）LTPS：低温ポリシリコン

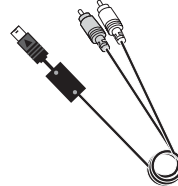
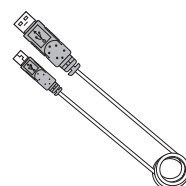
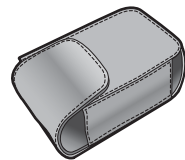
## ■ 同梱品

以下の通りカメラ本体及び付属品が同梱されていることを確認してください。

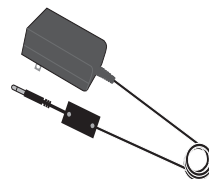
・カメラポーチ

・ネックストラップ

・専用USBケーブル

・専用AVケーブル

・変換アダプター

・専用バッテリー（充電式リチウムイオン電池）

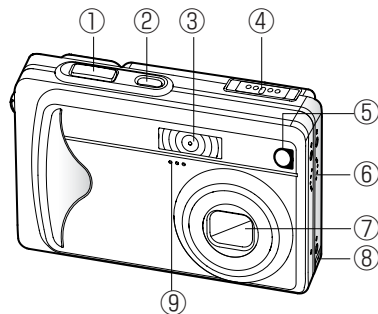
・専用ACアダプター

・SDメモリーカード（64MB）

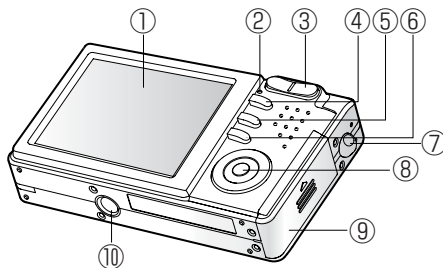
・クリーナー（ペット型）

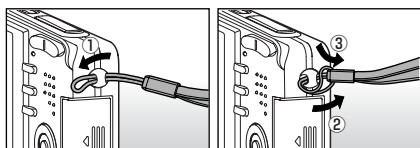
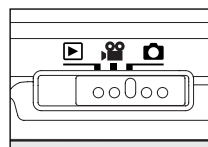
・取扱説明書（本体（保証書付）・ACアダプター）

**以降、この取扱説明書では、専用USBケーブル、専用AVケーブル、専用バッテリー、専用ACアダプター、SDメモリーカードを、USBケーブル、AVケーブル、バッテリー、ACアダプター、メモリーカードと表記します。**

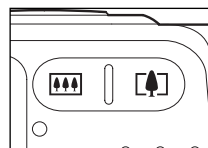
## ■ 各部の名称と各ボタンの役割

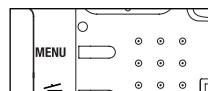
### 正面

①シャッター
②電源スイッチ
③ストロボ
④モードスイッチ
　（静止画撮影）モード
　（動画撮影）モード
　（再生）モード
⑤セルフタイマーランプ／
　AF補助光ランプ P40 （レッド）
⑥スピーカー
⑦レンズ
⑧USB（変換アダプター）端子
⑨マイク

### 背面

①液晶モニター
②動作確認用ランプ P26
（グリーン／レッド／オレンジ）
③ズームボタン
　望遠ボタン
　広角ボタン
④MENU（メニュー）ボタン
⑤ 消去ボタン
⑥ ディスプレイ／
　HELP（ヘルプ）ボタン
⑦ネックストラップ取付部
⑧コントロールパネル P18
⑨バッテリー／
　メモリーカードカバー
⑩三脚ねじ穴

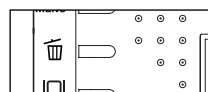
#### ネックストラップの取付け方

### モードスイッチ

カメラの動作するモードを切り替える場合に使用します。
**静止画撮影モード**：静止画を撮影するモードです。
**動画撮影モード**：動画を撮影するモードです。
**再生モード**：撮影した静止画や動画を再生したり、画像を消去するモードです。

各モードで設定できる項目や設定内容については、**メニュー項目と設定内容** P133 をご覧ください。

### ／ズームボタン

静止画撮影／動画撮影モード時に**ズーム撮影をする**場合 P42 や、 モード時には**インデックス再生** P52 や**ズーム再生** P51 をする場合に使用します。

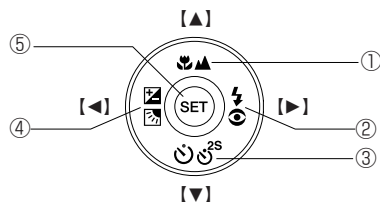
### MENUボタン

各モード時に各設定可能な項目を表示させます。

**各メニュー表示時に、再度MENU（メニュー）ボタンを押すと、メニュー表示がキャンセルされ、各モードに戻ります。**

### 消去ボタン

モード時に[消去]メニューを表示させたり、
静止画撮影／動画撮影モード時には、**クイック消去** P58 をする場合に使用します。

### ディスプレイ／HELP（ヘルプ）ボタン

各モード時に、液晶モニターの表示を切り替える場合に使用します。P22

## コントロールパネル

**この取扱説明書では、コントロールパネルでの各操作の説明に、【▲】【▼】【◀】【▶】と表記していますが、カメラ本体(コントロールパネル部)には【▲】【▼】【◀】【▶】の表示はありませんのでご注意ください。**

コントロールパネルの各ボタンにはご使用のモードによって、複数の役割があります。以下の内容をしっかりと確認して操作してください。

### 《静止画／動画撮影モード時》

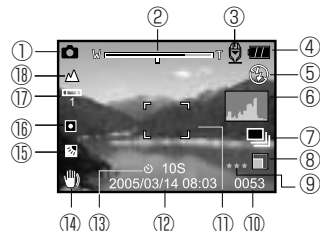
| No. | カメラの表示 | ボタンの名称 | 機能 |
|---|---|---|---|
| ① | | 【▲】上ボタン | 各メニュー画面で上を選ぶ場合に使用します。 |
| | | 撮影距離切替ボタン | 撮影距離モードを切り替える場合に使用します。P46 |
| ② | | 【▶】右ボタン | 各メニュー画面で右を選ぶ場合に使用します。 |
| | | ストロボボタン | 静止画撮影モード時に各ストロボモードを選ぶ場合に使用します。P44 |
| ③ | 2S | 【▼】下ボタン | 各メニュー画面で下を選ぶ場合に使用します。 |
| | | セルフタイマーボタン | セルフタイマー撮影をする場合に使用します。P89 |
| ④ | | 【◀】左ボタン | 各メニュー画面で左を選ぶ場合に使用します。 |
| | | 露出(明るさ)設定／逆光補正ボタン | 静止画撮影モード時に、露出(明るさ)を設定する場合や、逆光補正モードで撮影する場合に使用します。P78 |
| ⑤ | SET | SET(セット)ボタン | 各メニュー画面で決定する場合や、クイック再生する場合 P41 に使用します。 |

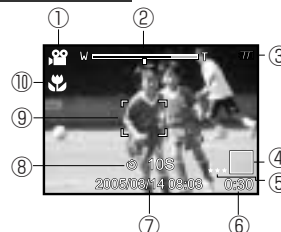
### 《再生モード時》

| No. | カメラの表示 | ボタンの名称 | 機　　能 |
|---|---|---|---|
| ① | | 【▲】上ボタン | 各メニュー画面で上を選ぶ場合や、シングル再生時に画像を回転(右90度)させる場合 P51 、動画再生中に消音を設定する場合 P53 などに使用します。 |
| ② | | 【▶】右ボタン | 各メニュー画面で右を選ぶ場合や(一つ後の)画像を選ぶ場合、動画再生中に早送りする場合 P53 などに使用します。 |
| ③ | 2S | 【▼】下ボタン | 各メニュー画面で下を選ぶ場合や、シングル再生時に画像を回転(左90度)させる場合 P51 、動画再生中にストップする場合 P53 などに使用します。 |
| ④ | | 【◀】左ボタン | 各メニュー画面で左を選ぶ場合や(一つ前の)画像を選ぶ場合、動画再生中に早戻しする場合 P53 などに使用します。 |
| ⑤ | SET | SET(セット)ボタン | 各メニュー画面で決定する場合や、記録されたボイスメモを再生する場合 P104 、動画を再生スタート／一時停止する場合 P53 などに使用します。 |

- **以降、この取扱説明書では、ズームボタン、MENU(メニュー)ボタン、消去ボタン、ディスプレイ／HELP(ヘルプ)ボタン、コントロールパネルでの操作を次のように表記します。**
  - **・ズームボタン、MENU(メニュー)ボタン、消去ボタンMODE(モード)ボタン、ディスプレイ／HELP(ヘルプ)ボタンを押す操作**
    - **→ 、 、MENU、 、 を押す**
  - **・コントロールパネルを【▲】【▼】【◀】【▶】方向に押す操作**
    - **→【▲】【▼】【◀】【▶】を押す**
    - **→【▲】【▼】【◀】【▶】選ぶ**
  - **・SETボタンを押す操作**
    - **→SETを押す**
- **以降、この取扱説明書では、静止画撮影モード、動画撮影モード、再生モードを モード、 モード、 モードと表記します。**

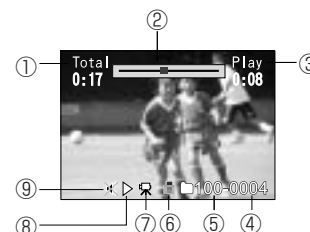
# ■ 液晶モニターの表示

## モード時　静止画を撮る P38

①静止画撮影モードマーク
②ズームバー P42
③ボイスメモ撮影マーク P83
※［オフ］時は表示なし
④バッテリー残量 P29
バッテリーの残量は十分です。
バッテリーの残量が少なくなっています。
まもなくバッテリーの残量がなくなります。
バッテリーの残量がありません。
⑤ストロボモード P44
（表示なし）オートモード
赤目軽減モード（強制発光）
強制発光モード
発光禁止モード
夜景モード（強制発光）
⑥ヒストグラム P23
⑦撮影モード
（表示なし）シングル撮影モード
連写撮影モード P86
AEB AE連写撮影モード P86
⑧画像サイズ P75
2560x1920（約500万画素）
2048x1536（約315万画素）
1280x960（約123万画素）
640x480（約31万画素）
⑨画質 P75
*** ファイン（低圧縮（1/4）モード）
** スタンダード（標準圧縮（1/8）モード）
* エコノミー（高圧縮（1/16）モード）
⑩撮影可能枚数 P131
⑪フォーカスフレーム
※シャッターボタン半押し時に有効
⑫日付/時刻 P35
⑬セルフタイマー P89
10s ：10秒
2s ：2秒
10+2s ：10秒+2秒
⑭ 手ぶれ注意マーク
**手ぶれについて P41**
⑮露出（明るさ）補正／逆光補正モードマーク　※［オート］時は表示なし
露出（明るさ）補正 P78
−2.0EV〜+2.0EV（1/3ステップ）
逆光補正モード P79
⑯測光方式 P94
（表示なし）：マルチ測光
：スポット測光
⑰ホワイトバランス P80
（表示なし）オート
白熱灯
蛍光灯1
蛍光灯2
晴天
曇天
マニュアル
⑱撮影距離モード P46
（表示なし）：オートモード
：近距離（マクロ）モード
：風景（無限遠）モード

## モード時　動画を撮る P47

① 動画撮影モードマーク
②ズームバー P42
③バッテリー残量 P29
④画像サイズ P75
640x480
320x240
⑤画質 P75
*** ファイン（低圧縮モード）
** スタンダード（標準圧縮モード）
⑥撮影可能秒数 P131 ／撮影秒数
※撮影開始後は撮影秒数を表示
⑦日付／時刻 P35
※撮影開始後はRECを表示
⑧セルフタイマー P89
10s ：10秒
2s ：2秒
⑨フォーカスエリア
※シャッターボタン半押し時に有効
⑩撮影距離モード P46
（表示なし）：オートモード
：近距離（マクロ）撮影モード
：風景モード

## モード時（静止画像の場合）　静止画・動画を見る P50

①静止画再生モードマーク
②ファイル番号 P71
③フォルダ番号 P71
④プロテクトマーク P99
※プロテクトされている場合にのみ表示
⑤ボイスメモマーク
※ボイスメモが記録されている場合にのみ表示

## モード時（動画像の場合）　動画を再生する場合は P53



①全秒数
②動画ステータスバー
③経過秒数
④ファイル番号 P71
⑤フォルダ番号 P71
⑥プロテクトマーク P98
※プロテクトされている場合にのみ表示
⑦ 動画再生モードマーク
⑧動作モード
▶ 再生中　II一時停止中
▶▶ 早送り中　▶▶▶ 早送り（高速）中
◀ 戻し中　◀◀ 早戻し中　◀◀◀ 早戻し（高速）中
⑨消音マーク　※消音時のみ表示

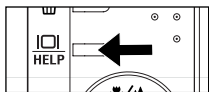
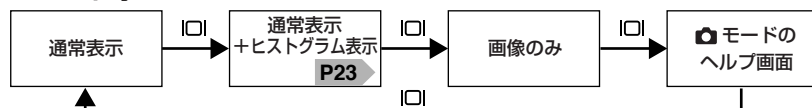
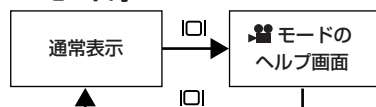
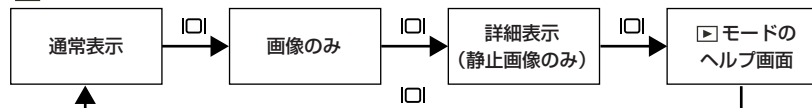
## 液晶モニターの表示切替について

各モードの液晶モニターの表示は、IOIを押して切り替えることができます。

**モード時**

**モード時**

**モード時**

- 動画撮影中 P47 、ボイスメモ録音中 P83 P103 、ボイスメモ再生中 P104 は液晶モニターの表示を切り替えることはできません。
- モード時は、ヒストグラム表示や画像のみを選ぶことはできません。
- モード時でも動画像の場合は、ヒストグラム表示など画像の詳細表示は表示されません。
- モード時でも、ズーム再生やインデックス再生をすると、ヒストグラム表示などの詳細表示は表示されません。





**≪ヒストグラムについて≫**

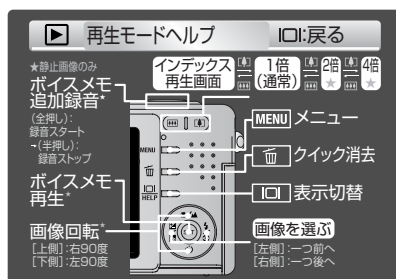
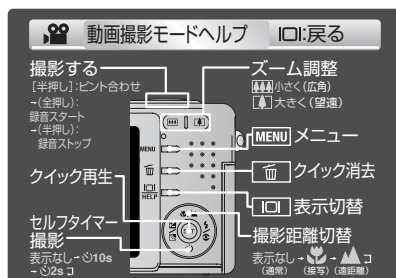
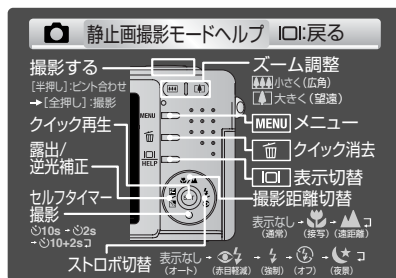
ヒストグラムとは、画像の明るさをグラフ化したもので、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げて表します。撮影した画像のヒストグラムの形状を見ることによって、その画像の露出状況を判断することができます。

- **中央を中心とした山の形状になっている場合：**
  暗い部分、中間の部分、明るい部分がバランスよく撮影された適正露出の画像
- **山の高い部分が極端に左側に寄っている形状の場合：**
  暗い部分が多すぎる露出アンダー気味の画像。夜景など黒いものが画像の大部分を占めている場合もこのような形状になります。
- **山の高い部分が極端に右側に寄っている形状の場合：**
  明るい部分が多すぎる露出オーバー気味の画像。白いものが画像の大部分を占めている場合にもこのような形状になります。

- 撮影前のヒストグラムはそのときに画面に表示されている画像のヒストグラムを表示しています。
  撮影前と撮影後では、ヒストグラムに差が生じます。特に、ストロボ発光時や暗い場所での撮影時には、大きく差が出る場合がありますので、撮影後は、モード（詳細表示）で確認してください。
- 他機で撮影した画像はヒストグラムが表示されない場合があります。
- 撮影したい画像を意図的に露出オーバーやアンダーにする場合もありますので、必ずしも中央を中心とした山の形状になっている場合が適性ではありません。

## クイックヘルプについて

**液晶モニターの表示切替について** P22 にあるように、本機にはクイックヘルプ画面が搭載されています。
各モードでの操作時にボタンの機能や役割を確認する際に便利です。

**クイックヘルプ画面を非表示にすることはできません。**





### ≪各クイックヘルプ画面からの各ボタンの操作≫

| 各ボタン | 📷モード時 | 🎥モード時 | ▶モード時 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 静止画像の場合 | 動画像の場合 |
| MENU | メニューを表示 | メニューを表示 | メニューを表示 | メニューを表示 |
| 🗑 | クイック消去画面を表示 | クイック消去画面を表示 | [消去]メニューを表示 | [消去]メニューを表示 |
| IOI | 通常表示へ戻る | 通常表示へ戻る | 通常表示へ戻る | 通常表示へ戻る |
| 【▲】【▼】 | 無効 | 無効 | 無効 | 無効 |
| 【◀】【▶】 | 無効 | 無効 | 有効（通常表示） | 有効（通常表示） |
| SET | クイック再生画面 | クイック再生画面 | 無効 | 無効 |
| シャッター | 無効 | 無効 | 無効 | 無効 |
| [🌲] | 無効 | 無効 | 有効（ズーム再生） | 無効 |
| [🌲🌲🌲] | 無効 | 無効 | 有効（インデックス再生） | 有効（インデックス再生） |

## ■ 動作確認用ランプの表示

動作確認用ランプ（グリーン／レッド／オレンジ）は、本機の状態や操作を点灯や点滅表示でおしらせします。

| 色 | 表示方法 | 操作・状態 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 電源オフ時 | ／ モード時 | パソコン接続時 |
| グリーン | 点灯 | バッテリー充電完了時 | シャッターボタン半押し時でフォーカスがロックされたとき（ピントが合ったとき） | — |
| | 点滅 | 充電中 | — | — |
| レッド | 点灯 | 充電エラー | メモリーカードにアクセスしているとき（画像の記録中など） | パソコン接続中 |
| | 点滅 | — | シャッターボタン半押し時で、ピントが合わないとき | — |
| オレンジ | 点灯 | — | ストロボ充電中（ モード時） | — |
| | 点滅 | — | 内部システムなどの誤動作時 | パソコン接続エラー（メモリーカードが未挿入など） |

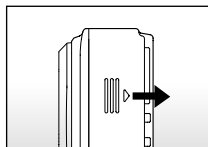
▶ モード時でも、メモリーカードにアクセスしているとき（画像を選んでいる場合など）は、同様に動作確認用ランプが、レッドで点灯します。

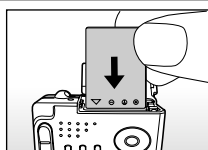


# 基本操作編

カメラの基本的な操作を説明します。本項の内容で、カメラの基本的な操作を行うことができます。

## ■ バッテリーを入れる

**1**

バッテリー／メモリーカードカバーを矢印の方向へスライドさせて開きます。

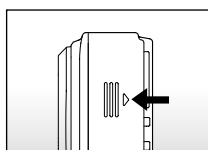
**2**

バッテリーを入れる向き(極性)を確認します。(極性表示のある面：本体背面側)

**3**

バッテリー側面で、バッテリーロックをずらしながら、バッテリーがロックされるまでしっかりと押し込みます。

**❗ 無理に押し込まないでください。**

バッテリーを取り出すときは、バッテリーロックをずらして取り出します。

**4**

バッテリー／メモリーカードカバーを閉じます。

- バッテリー／メモリーカードカバーが完全に閉まらない場合は、一度バッテリーを取り出してから、もう一度入れ直してください。
- バッテリーの交換は電源をオフにして行ってください。また、バッテリーが落下しないようにご注意ください。
- バッテリー／メモリーカードカバーを乱暴に開かないでください。破損する恐れがあります。

### バッテリー残量の表示

▮▮▮ バッテリーの残量は十分です。
▯▮▮ バッテリーの残量が少なくなっています。
▯▯▮ まもなくバッテリーの残量がなくなります。
▯▯▯ バッテリーの残量がありません。
**バッテリーを充電する** P30 か、十分に充電されたバッテリーを使用してください。

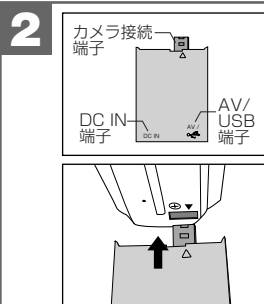
- 使用状況や環境によって正しく表示されないことがあります。
- バッテリー残量の表示はご使用上の目安としてお使いください。

**バッテリー使用時のご注意** P12、**仕様** P132 をあわせてお読みください。

## ■ バッテリーをACアダプター（付属）で充電する

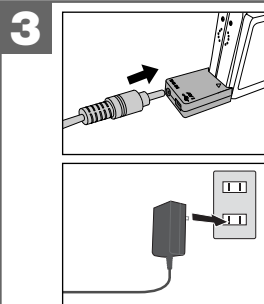
- 同梱のACアダプターの取扱説明書および**ACアダプター使用時のご注意** P13、**バッテリー使用時のご注意** P12、**仕様** P132 を、あわせてお読みください。
- ACアダプターを使用する場合は、カメラの電源をオフにしてから行ってください。
- 完全に使い切った状態から、フル充電になるまでの時間は、約120分です(当社測定基準による)。充電時間は、周囲の温度や充電状態によって異なります。
- 充電は0℃～40℃の温度範囲で行ってください。範囲外の温度で充電すると、充電時間が長くなったり、十分な充電ができない場合があります。
- 24時間以上にわたる連続充電はしないでください。

はじめてお使いになるときや、バッテリーがなくなったときは、バッテリーを充電してからお使いください。

**1** **バッテリーを入れる** P28 の手順に従って、バッテリーを正しく入れます。

**2**

変換アダプター（付属）のカメラ接続端子を図の向きで、カメラ本体に差し込みます。

**無理に差し込まないでください。**

**3**

ACアダプター（付属）のミニプラグを変換アダプターのDC IN端子に、電源プラグ（もう片方）を壁の電源コンセントにしっかりと差し込みます。

動作確認用ランプが、グリーンで点滅して、充電が開始されたことをおしらせします。

- 充電が終了すると動作確認用ランプ（グリーン）の点滅が、点灯に変わります。
- 充電が終了したら、ACアダプター、変換アダプターを取り外します。壁の電源コンセントからも取り外してください。
- 充電中や充電後は、バッテリーおよびカメラ本体が温かくなりますが、異常ではありません。

### ACアダプター（付属）を海外で使用する場合は

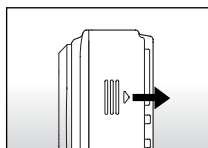
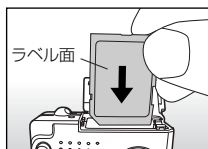
ACアダプター（付属）はAC100V～240V・50/60Hzの電源に対応していますので、海外でも使用できます。

- 電源プラグの形状は滞在先の国や地域によって異なります。あらかじめ、旅行代理店などで使用可能かどうかをご確認ください。
- 市販の変圧器などは故障の原因となる場合があるので、使用しないでください。

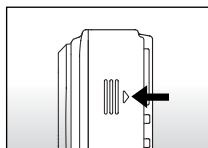
## ■ メモリーカードを入れる・取り出す

本機を使用して撮影する場合は、必ずSDメモリーカード（64MB付属）が必要です（32/64/128/256/512MB対応）。

- 撮影可能枚数・時間の目安については、**画像記録枚数・時間／データサイズ P131** をご覧ください。
- ご使用中のメモリーカードのカードサイズやメモリ残量の情報は、▶モードの［設定］メニュー内［カード情報］で確認できます。**メニュー項目と設定内容 P133**
  操作方法は、▶モードから、**MENU**を押して、【◀】【▶】で［設定］メニューを表示させ、【▲】【▼】で［カード情報］を選び**SET**を押します。

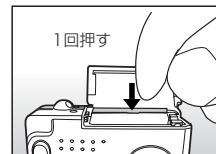
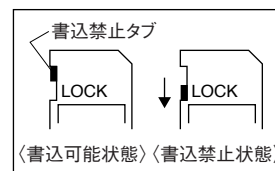
> - **SDメモリーカード使用時のご注意 P11** をあわせてお読みください。
> - メモリーカードを入れたり、取り出したりする場合は、必ず電源がオフ、レンズが収納されている状態で行ってください。メモリーカードやメモリーカード内のデータが破損する原因になる場合があります。
> - 他のデジタルカメラやパソコンでフォーマット（初期化）したメモリーカードを使用する場合は、本機でフォーマット（初期化）してから使用してください。
>   **フォーマットする P105**

**1** バッテリー／メモリーカードカバーを矢印の方向にスライドさせて開きます。

**2** メモリーカードをSDメモリーカードスロットに挿入します。

メモリーカードは図の向きで「カチッ」と音がなるまで確実に差し込んでください。

**3** バッテリー／メモリーカードカバーを閉じます。

> バッテリー／メモリーカードカバーが完全に閉まらない場合は、一度メモリーカードを取り出してから、もう一度入れ直してください。



### メモリーカードを取り出すには

バッテリー／メモリーカードカバーを開き、メモリーカードを1回押して取り出してください。

### メモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）について

メモリーカードにはライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチがついています。
ライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが、「LOCK」になっていると液晶モニターに「カードがプロテクトされています」と表示され、通常の撮影や消去ができません。

## ■ 電源のオン／オフ

**1**

**動作確認用ランプ（グリーン）が点灯するまで、電源スイッチを押し、電源をオンにします。**

・モードスイッチが📷／🎥の場合は、レンズが出て液晶モニターに被写体が写ります。

**2** **液晶モニターが消えるまで電源スイッチ押し、電源をオフにします。**

- **電源スイッチを押す操作が短すぎると､電源がオン／オフしない場合があります。その場合はゆっくりと操作をやり直してください。**
- **操作音の設定が［オン］になっている場合（初期設定は［オン］** **P66** **）は、電源オン時とオフ時に起動音や“ピッ”という音で操作をおしらせします。**
- **電源オン時の起動音や起動画面を変更することはできません。**

### オートパワーオフ機能について

電源オンのままで一切の操作を行わずにカメラを放置する（初期設定は［1分］ P67 ）と、節電のために自動的に電源がオフになります。
再び使用するときは電源スイッチを操作して電源をオンにしてください。

- **ACアダプターを使ってカメラを操作する** **P69** 場合もオートパワーオフ機能は有効です。
- **USB接続している** **P109** **P116** 場合や**スライドショー再生** **P97** をしている場合は、オートパワーオフ機能ははたらきません。
- 各項目を設定中にオートパワーオフ機能がはたらき電源がオフになったときは、その前に設定した内容が保持されていない場合があります。その場合は、再度設定し直してください。



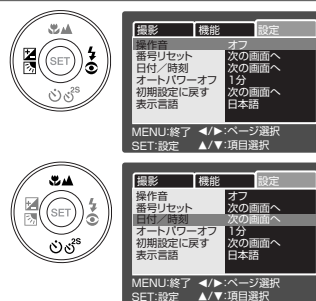
## ■ 日付／時刻を合わせる

初めてお使いになる場合や、バッテリーをはずして長時間保管されていた場合など内部時計がリセットされた場合には、日付／時刻を設定する画面が電源オン時に表示されます。
その場合は、以下の手順で日付／時刻を設定してください。

- **バッテリーをはずして長時間保管されていた場合などは、必ず時計表示を確認してください。**
  **内部時計は約1時間バックアップしますが、バッテリーの使用時間によっては、日付／時刻の設定をクリアにする場合があります。**
- **設定された日付／時刻は、電源をオフにした後や初期設定に戻す** **P37** **操作を行っても保持されます。**

**1**

**📷／🎥モードからMENUを押します。**
［撮影］メニューが表示されます。

**2**

**［撮影］メニューから【◀】【▶】で［設定］メニューを選び、**

**【▲】【▼】で［日付／時刻］を選び、**

**SETを押します。**
［日付／時刻］設定画面が表示されます。

**3**

**「年」→「月」→「日」→「時」→「分」の順に【▲】【▼】【◀】【▶】を使って合わせ、すべて合わせたらSETを押します。**

設定した内容を保持し、［設定］メニューに戻ります。

【▲】／【▼】：数値の＋（プラス）／－（マイナス）
【◀】／【▶】：項目の選択と数値の決定



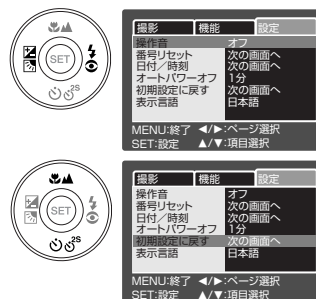
## ■ 初期設定に戻す

ご使用中に様々な設定をしてしまったなど、元の設定に戻したい場合は、以下の操作で各設定項目を初期設定に戻します。

**1**

**📷／🎥モードからMENUを押します。**

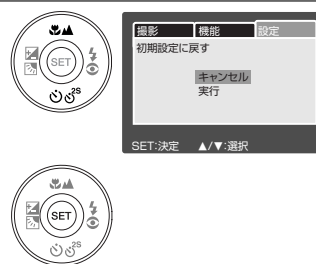
［撮影］メニューが表示されます。

**2**

**［撮影］メニューから【◀】【▶】で［設定］メニューを選び、**

**【▲】【▼】で［初期設定に戻す］を選び、**

**SETを押します。**

確認画面が表示されます。

**3**

**【▲】【▼】で［実行］／［キャンセル］を選び、**

**SETを押します。**

［実行］を選ぶと、各設定を初期設定に戻し、［設定］メニューに戻ります。

- 各項目の初期設定は、**メニュー項目と設定内容** P133 をご覧ください。
- 表示言語（初期設定は［日本語］P64）やビデオモード（初期設定は［NTSC］P59）の項目は初期設定に戻す操作を行っても設定内容が優先され、初期設定には戻りません。

# 静止画／動画を撮る

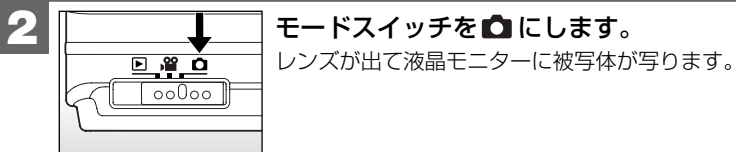
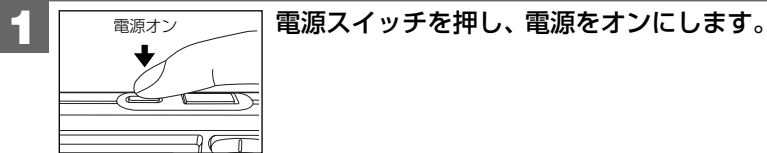
## ■ 静止画を撮る

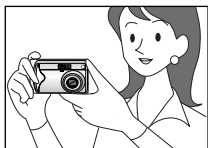
シャッターボタンは半押しと全押しの2段階で動作します。
半押しと全押しの操作（感覚）については、実際に撮影される前に必ずお試しください。**ためし撮りについて** P10

**1**

電源スイッチを押し、電源をオンにします。

**2**

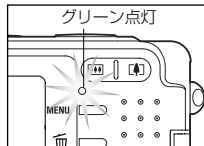
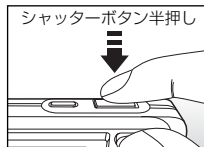
モードスイッチを📷にします。
レンズが出て液晶モニターに被写体が写ります。

**3**

両手でカメラを構え、被写体が液晶モニターに収まるように、構図を決めます。

・横に持つ場合

両方の手でカメラを持ち、脇を締めてカメラをしっかりと固定してください。

・縦に持つ場合

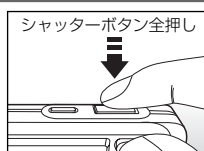
縦に持つ場合は、レンズよりストロボが上にくるようにして、カメラをしっかりと固定してください。

**4**

被写体をフォーカスフレームに合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます（フォーカスロック）。

・ピントが合うと、フォーカスフレームの表示がブルーになり、動作確認用ランプ（グリーン）が点灯し、シャッタースピード、F値の値が液晶モニターに表示されます。

フォーカスフレームの表示がイエローになり、動作確認用ランプ（レッド）が点滅している場合は、ピントが合っていません。その場合は撮影距離などを確認して、被写体をフォーカスフレームにあわせ、半押しし直してください。半押しの操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。

**ピントについて** P40

**5**

半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。
シャッターが切れます。

- 操作音の設定が［オン］になっている場合（初期設定は［オン］P66）は、シャッター音で撮影されたことをおしらせします。
- プレビューの設定が［オン］になっている場合（初期設定は［オン］P74）は、撮影された画像が液晶モニターに表示されます。
- 撮影したあとに、動作確認用ランプが点灯している場合は、メモリーカードへ画像記録中（レッド点灯）、ストロボ充電中（オレンジ点灯）P44 のため、次の撮影はできません。

## ピントについて

・ピントが合う範囲は、50cm〜∞です（近距離（マクロ）モード時：6cm（ワイド端（広角側））/35cm（テレ端（望遠側））〜∞）。
・ピント合わせ（半押し時）の状況は、フォーカスフレームと動作確認用ランプの色で確認できます。

| 状況 | フォーカスフレーム | 動作確認用ランプ |
| --- | --- | --- |
| ピントが合ったとき | ブルー | グリーン点灯 |
| ピントが合っていないとき | イエロー | レッド点滅 |

・本機のオートフォーカス機能は、CCD上のコントラストの状態を検知して距離を測るコントラスト方式を採用しています。
・以下のような被写体はピントが合いにくい場合があります。その場合は、構図を変更したり、被写体と同距離にあるコントラスとのはっきりしたものでピントをあわせたあと、構図を決めて撮影してください。
　―階調のない壁などコントラストがはっきりしないもの
　―画面中央に極端に明るいものがある
　―鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
　―遠いものと近いものが混在する（ガラス越しなど）
　―動きのはやいもの
　―ピントを合わせたいものが中央にない
　―暗い場所にある被写体
・フォーカスロックされて、ピントが合っても、シャッターボタンを離すとピントが解除されます。その場合は、もう一度半押ししてピントを合わせてください。
・半押ししてピントが合ってないときでも、全押しして撮影することはできますが、ピント合わせは正しく設定されていません。

## AF補助光について

・暗い場所などでシャッターボタンを半押しした場合、AF補助光ランプ（レッド）が光る場合があります。
これは、被写体が暗くてピントが合いにくいときに、光を当ててピントを合いやすくする機能です。

- **AF補助光のオン／オフの設定はできません。**
- **AF補助光の発光部を近くで見ないようにご注意ください。**
- **撮影距離モードを風景モードに設定している場合** P46 **は、AF補助光は発光されません。**



## 手ぶれについて

・シャッターボタンを全押しするときは、手ぶれに十分ご注意ください。

・被写体の明るさやストロボモードの状態（暗い場所でストロボが発光禁止になっているなど）から、手ぶれしやすい場合は、手ぶれ注意マークが表示されます。
・手ぶれ注意マークが表示されている場合は、被写体や撮影モード（ストロボモードなど）を変更するか、三脚を使う、またはセルフタイマー撮影（2秒など）をする P89 などして、カメラをしっかりと固定して撮影してください。

## クイック再生について

／モードで、**SET**を押すと、一番最後に撮影された画像をクイック再生します。再度**SET**を押すか、【▲】【▼】【◀】【▶】を押すとクイック再生を解除し、／モードに戻ります。
プレビューの設定を［オフ］にしている場合などで、撮影した直後に上手く撮影されているかを確認する場合などに便利です。

- **クイック再生機能はモード時も有効です。**
- **クイック再生画面で、ズーム再生** P51 **や画像回転** P51 **、動画再生** P53 **、画像の消去** P54 **などの操作を行うことはできません。**

## ■ ズームを使う

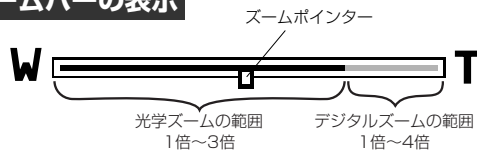
被写体を光学ズーム倍率3倍（35mmフイルム換算約32mm〜約96mm）で拡大して撮影できます。
デジタルズーム（4倍）と組み合わせて使用すると最大12倍の撮影ができます。

- 高倍率での撮影は手ブレが起こりやすくなります。手ブレ防止のため、三脚を使用するか、セルフタイマー撮影（2秒など）をする P89 などして、カメラを固定してください。
- 🎥モード時のズームの調整は撮影前に行います。撮影開始後にズームを調整することはできません。
- 🎥モードで画像サイズが［640X480］になっている場合は、デジタルズーム撮影はできません。

**1**

📷モードで、液晶モニターで被写体を確認しながら、[T]／[W]を押してズームを調整します。

望遠側 [T]：望遠になります。
広角側 [W]：広角になります。

### ズームバーの表示

ズームポインターがデジタルズームの範囲にある場合で、モードスイッチを切り替えたり液晶モニターの表示切替で、ヘルプ画面を表示したりすると、デジタルズームは解除されます。



### デジタルズームを使う場合

光学ズームが最も望遠側（3倍）になった状態から、さらに[T]を押すと、中央部分をデジタルズームして撮影することができます。
デジタルズームの初期設定は［オン］が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。

**1**

**📷／🎥モードからMENUを押します。**
［撮影］メニューが表示されます。

**2**

**［撮影］メニューから【◀】【▶】で［機能］メニューを選び、**

**【▲】【▼】で［デジタルズーム］を選び、**

**SETを押します。**
選択画面が表示されます。

**3**

**【▲】【▼】で［オン］／［オフ］を選び、**

**SETを押します。**
選んだ内容を保持し、［機能］メニューに戻ります。

- ここで選んだデジタルズームの設定は、**初期設定に戻す** P37 操作を行うと［オン］に戻ります。

## ■ ストロボを使う

撮影状況、目的に応じてストロボの設定を選んでください。

**1** **モードで、 （【▶】）を繰り返し押して、ストロボモードを選びます。**

液晶モニターに選んだストロボモードがアイコン表示されます。

| ストロボモード | 設定内容 |
|---|---|
| （表示なし）オートモード **初期設定** | 撮影状況に応じて自動的にストロボを発光します。（シャッタースピード：1/50～1/1000秒） |
| 赤目軽減モード（強制発光） | 暗いところでひとみを自然に撮りたいときに使用します。撮影のためのストロボの前に一度ストロボが発光します。（シャッタースピード：1/50～1/250秒） |
| 強制発光モード | 常にストロボを発光させます。（シャッタースピード：1/50～1/250秒） |
| 発光禁止モード | ストロボは発光しません。暗いところではシャッタースピードが遅くなり、手ブレが起こりやすくなりますので、三脚を使用するか、セルフタイマー撮影（2秒など）をする P89 などしてカメラを固定して撮影してください。（シャッタースピード：1/2～1/1000秒） |
| 夜景モード（強制発光） | 遅いシャッタースピードでストロボを発光させます。夜景などで背景だけが暗くなるのを軽減できます。三脚を使用するか、セルフタイマー撮影（2秒など）をする P89 などしてカメラを固定して撮影してください。（シャッタースピード：1/10～1/250秒） |

- ストロボによる連動範囲（推奨）は、約0.5m～約2.4m（テレ端（望遠側））／約2.7m（ワイド端（広角側））です。
  この範囲外の被写体に対しては適切な効果が得られません。また、**ISO感度の設定** P93 などによって異なります。
- ここで選んだストロボモードは、電源をオフにしたり、**初期設定に戻す** P37 操作を行うとオートモードに戻ります。
- 近くでストロボ発光部を見ないようにご注意ください。
- ストロボ発光部を指などでふさがないようにご注意ください。
- 撮影距離モードを 風景モードに設定している場合 P46 や、撮影モードを［連写］、［AE連写］に設定している場合 P86 、 モードの場合は、ストロボは発光しません。
- 動作確認用ランプ（オレンジ）が点灯している場合は、ストロボの充電中で次の撮影はできません。
  ストロボの充電には約10秒程かかる場合があります。充電時間は使用状況や電池残量によって異なります。
- バッテリー残量が少ない場合は、ストロボの充電ができなくなる場合があります。その場合は、バッテリーを充電してください。
- 赤目軽減の効果には個人差があります。また被写体までの距離や条件によって、効果が表れにくい場合があります。
- 発光禁止モードを選んでいる場合で、 **手ぶれ注意マークが表示されている場合は、ストロボの使用をおすすめします。**
- ストロボを発光した場合は、外光や蛍光灯など他の光源の影響で色味が変わる場合があります。

## ■ 近距離（マクロ）・風景（無限遠）モードで撮影する

撮影状況、目的に応じて撮影距離モードの設定を選んでください。

| 撮影距離モード | 設定内容 |
|---|---|
| （表示なし）オートモード **初期設定** | 通常の撮影時に使用するモードです。約50cm〜∞の範囲で、カメラが自動的にピントを合わせます。 |
| 近距離（マクロ）モード | 花などをアップにして撮影したい場合に使用するモードです。<br>○撮影可能範囲：<br>・ズームが (広角側) いっぱいのとき（ワイド端）：<br>**約6cm〜∞**　（約80mm×約60mm）<br>・ズームが (望遠側) いっぱい（光学ズーム3倍）のとき（テレ端）：<br>**約35cm〜∞**（約128mm×約96mm）<br>●近距離撮影時にデジタルズームを使用しても、ピントは合いにくくなりますので、デジタルズームを使用しないことをおすすめします。<br>●ストロボ撮影の連動範囲（推奨）は、約0.5m〜約2.4m（テレ端（望遠側））／約2.7m（ワイド端（広角側））です。<br>●近距離撮影時にストロボ撮影をすると、ストロボの光がレンズ部にさえぎられて、画像に影が映し出される場合がありますので、ご注意ください。 |
| 風景（無限遠）モード | 遠くの風景などを撮影したい場合に使用するモードです。ピント合わせは∞（無限遠）に固定されます。<br>●風景モードに設定すると、ストロボモードは発光禁止モードになります。 |

**1**

**／モードで、（【▲】）を繰り返し押して、撮影距離モードを選びます。**

液晶モニターに選んだ撮影距離モードがアイコン表示されます。

ここで選んだ撮影距離モードは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P37 操作を行うとオートモードに戻ります。

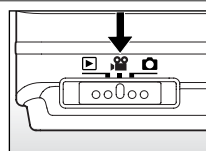


## ■ 動画を撮る

本機は動画（音声付き）を撮影できます。撮影した動画は、カメラで再生したり、付属のAVケーブルを使用してテレビで見ることができます。

**1** 電源オン

**電源スイッチを押し、電源をオンにします。**

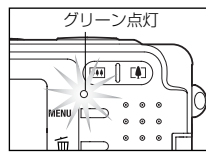
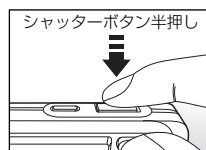
**2**

**モードスイッチを にします。**

レンズが出て液晶モニターに被写体が写ります。

**3**

**／でズームを調整します。** **ズームを使う** P42

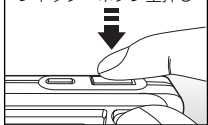
●ズームの調整は撮影開始後にはできません。また、画像サイズを[640x480]に設定している場合は、デジタルズームを使用することはできません。

**4**

**撮影を開始する被写体をフォーカスフレームに合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントをあわせます（フォーカスロック）。**

・ピントが合うと、フォーカスフレームの表示がブルーになり、動作確認用ランプ（グリーン）が点灯します。

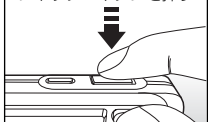
フォーカスフレームの表示がイエローになり、動作確認用ランプ（レッド）が点滅している場合は、ピントが合っていません。その場合は撮影距離などを確認して、被写体をフォーカスフレームにあわせ、半押しし直してください。半押しの操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。

**ピントについて** P40

## 5

### 半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。

・液晶モニターに**REC**が表示され、撮影を開始します。
・撮影中は液晶モニターに撮影秒数が表示されます。
・内蔵マイクより、音声も同時に記録します。

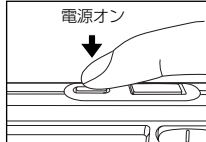
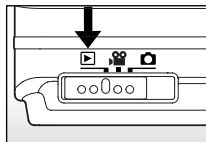
操作音の設定が［オン］になっている場合（初期設定は［オン］ P66 ）は、“ピッ”という音で撮影が開始されたことをおしらせします。

## 6

### 撮影をストップするときは、シャッターボタンを押しします。

撮影をストップします。

- 操作音の設定が［オン］になっている場合（初期設定は［オン］ P66 ）は、“ピッ”という音で撮影がストップされたことをおしらせします。
- 撮影に必要なメモリ残量がなくなると、撮影は自動的にストップします。

- 音声なしで撮影することはできません。
- 画像サイズ（記録画素数） P75 、画質（圧縮率） P75 、コントラスト P92 、色効果 P82 、撮影距離モード P46 の設定やセルフタイマー撮影 P89 は動画撮影時も有効ですが、それ以外の設定はできません。
  設定可能な項目については、**メニュー項目と設定内容** P133 をご覧ください。
- ピントやF値、露出などは撮影を開始したとき（最初のフレーム）の設定値に固定されます。
- 磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジやテレビ、携帯電話など）からは、できるだけ離れて撮影してください。電磁波の影響で画像や音声が乱れる場合があります。
- 🎥モード時もクイック再生 P41 、クイック消去 P58 機能は有効です。

## 動画ファイルについて

| 画像サイズ（記録画素数） | 640X480／320X240 |
|---|---|
| 圧縮率 | ファイン（低圧縮モード）／スタンダード（標準圧縮モード） |
| 記録画像ファイルフォーマット | AVI<br>（画像データ：Motion JPEG、<br>音声　：WAV（PCM方式）/モノラル） |
| フレームレート | 15フレーム/秒 |

- 画像記録時間／データサイズについては、**画像記録枚数・時間／データサイズ** P131 をご覧ください。
- 動画ファイル（ファイル形式：AVI、圧縮形式：Motion JPEG）をパソコンで再生するには、QuickTime3.0以上やWindows Media Player（※）などの記録画像ファイルフォーマットに対応した再生用のソフトウェアが必要です。
  （※）Windows Media Playerをお使いの場合は、動画ファイルを再生できない場合があります。
  その場合は、コーデック（Compression/Decompressionの略で音声や動画の圧縮・伸張（再生）を行うための専用プログラム）が含まれるDirectX 8.1などの、機能拡張ツールが必要です。

# 静止画／動画を見る

撮影した静止画や動画は液晶モニターで再生できます。基本的な再生方法には、シングル再生、ズーム再生（1倍/2倍/4倍）、画像回転、インデックス再生（9分割）、動画再生があります。

スライドショー再生やボイスメモ再生については、**スライドショー再生をする** P97 、**ボイスメモを再生する** P104 をご覧ください。

**1**

電源スイッチを押し、電源をオンにします。

**2**

モードスイッチを ▶ にします。
最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

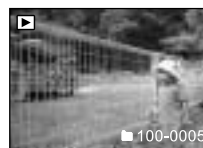
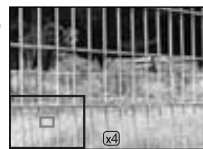
**3**

【◀】【▶】で画像を選びます。**コントロールパネル** P18
・動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。

【◀】→

【▶】→

液晶モニターに 🎙 が表示されている場合は、ボイスメモ（音声）付きの静止画です。
記録されたボイスメモを再生する場合は、**ボイスメモを再生する** P104 をご覧ください。

## 画像を回転する場合は

**1**

【◀】【▶】で画像を選び、液晶モニターに回転させたい画像を表示させます。

**2**

【▲】【▼】で画像を回転させます。

【▲】：右90度
【▼】：左90度

- 動画像を回転させることはできません。
- 液晶モニターの表示を「詳細表示」や「ヘルプ画面」にしている場合は、画像回転はできません。「通常表示」や「画像のみ」の状態で操作してください。

**液晶モニターの表示切替について** P22

## ズーム再生をする場合は

シングル再生で表示された画像を、2倍、4倍の倍率でズーム再生することができます。

**1**

【◀】【▶】で画像を選び、液晶モニターにズーム再生したい画像を表示させます。

**2**

[♠] を押すと中央部分を拡大して再生します。
[♠♠♠] を押すと拡大を解除します。

**【▲】【▼】【◀】【▶】で、表示位置を変更します。**

- 動画像はズーム再生できません。
- ズーム再生しているときの液晶モニターの表示（ガイド）は、 |□| ボタンで、表示オン／オフを切り替えることができます。

## インデックス再生をする場合は

液晶モニターに9分割で複数の画像を表示させせることができます。たくさんの画像を撮影した場合など、画像を選ぶのに便利です。

**1**

**シングル再生時に ▲▲▲ を押します。**

インデックス再生画面になります。

**【▲】【▼】【◀】【▶】で画像を選びます。**

・このとき、動画像には 🎥 、プロテクトされている画像には 🔒 P98 メモ（音声）付き静止画像には 🎙 P104

または

**[▲]またはSETを押すと選んだ画像のシングル再生画面になります。**

- メニューを表示させる場合や消去をする場合は、インデックス再生画面からは、操作できません。その場合は、一度シングル再生画面に戻してから操作してください。
- 大容量のメモリーカードを使用している場合は、表示に時間がかかる場合があります。



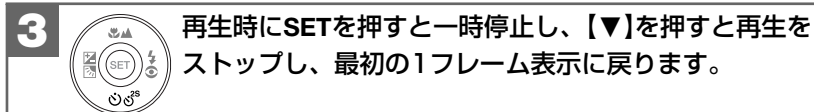
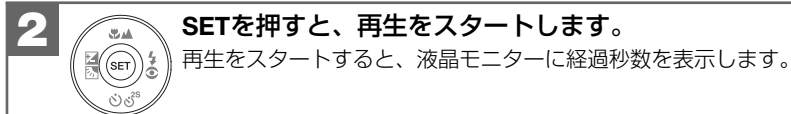
## 動画を再生をする場合は

**【◀】【▶】で再生したい動画像を選びます。**

**SETを押すと、再生をスタートします。**

再生をスタートすると、液晶モニターに経過秒数を表示します。

**3**

**再生時にSETを押すと一時停止し、【▼】を押すと再生をストップし、最初の1フレーム表示に戻ります。**

**《動画再生中の操作方法》**

○**早戻し／早送り**：再生中に【◀】【▶】を押す

- 早送りのスピードは2段階で動作します。
  通常再生▶→【▶】→早送り▶▶→【▶】→早送り（高速）▶▶▶→【▶】→通常再生▶
- 早戻しのスピードは2段階で動作します。
  通常戻し◀ →【◀】→早戻し◀◀→【◀】→早戻し（高速）◀◀◀→【◀】→通常戻し◀
- 大容量のメモリーカードを使用している場合は、早戻し／早送りのスピードが遅くなる場合があります。

○**一時停止（ポーズ）／再生スタートの切り替え**：**SET**を押す

○**一時停止中のコマ送り**：一時停止中に【◀】【▶】を押す

○**ストップ（最初の1フレーム表示）**：【▼】を押す

○**画面表示の切り替え**： |□| を押す

「通常表示」と「画像のみ」の切り替えのみとなります。

○**消音**：【▲】を押す

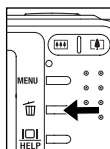
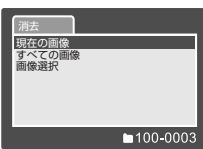
消音を設定すると、液晶モニターに 🔇 が表示されます。

音量を調整することはできません。

# 画像を消去する

画像を消去するには
- **1枚ずつ消去する**
- **すべての画像を消去する**
- **画像を選んで（複数）消去する**
- **クイック消去する**

の4つの方法があります。クイック消去以外は ▶ モードから操作します。

- **一度消去してしまった記録内容は二度と元に戻すことはできません。消去を行うときは、本当に不要な画像（ファイル）かどうかよく確かめてから行ってください。特にすべての画像を消去する場合は、すべての内容を一度に消去してしまいますので、内容をよく確かめてから操作してください。**
- **消去中にカメラの電源がオフになると、正しく消去されず、メモリーカードが正常に使用できなくなる場合がありますので、消去する場合は、十分に充電されたバッテリーまたは、ACアダプターを使用してください。**
  **ACアダプターを使ってカメラを操作する P69**
- **画像プロテクト P98 された画像は消去できませんので、画像プロテクトを解除してから操作してください。**
- **ボイスメモ（音声）付き静止画を消去すると、画像ファイルと音声ファイルの両方を消去します。**
  **ボイスメモ撮影 P83 、撮影したあとにボイスメモ（音声）を入れる P103**

## 1枚ずつ消去する場合は

**1**

電源オン

**電源スイッチを押し、電源をオンにします。**

**2**

**モードスイッチを ▶ にします。**

最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。



**3**

**【◀】【▶】で消去したい画像を選びます。**

・動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。

**4**

**🗑 を押します。**

［消去］メニューが表示されます。

**5**

**［消去］メニューから【▲】【▼】で［現在の画像］を選び、**

**SETを押します。**

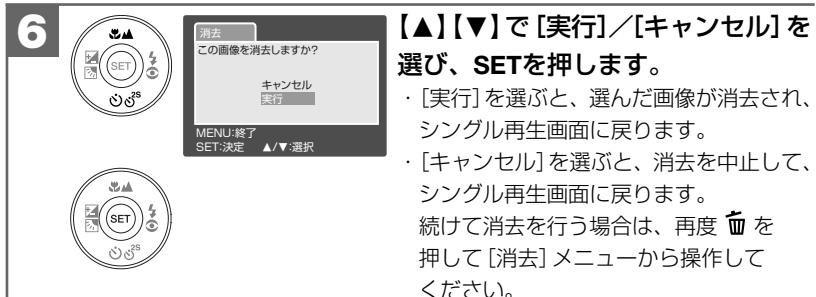
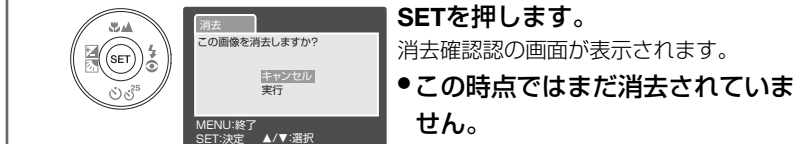
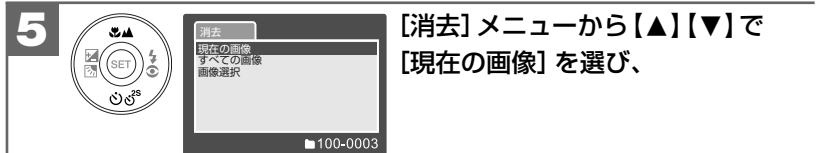
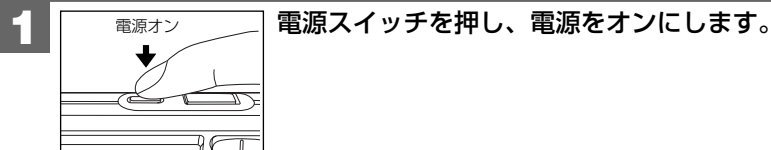
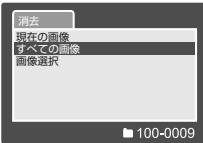
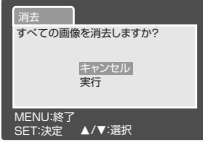
消去確認認の画面が表示されます。

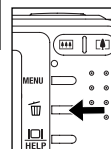
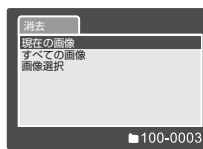
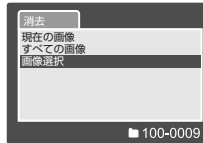
- **この時点ではまだ消去されていません。**

**6**

**【▲】【▼】で［実行］／［キャンセル］を選び、SETを押します。**

・［実行］を選ぶと、選んだ画像が消去され、シングル再生画面に戻ります。

・［キャンセル］を選ぶと、消去を中止して、シングル再生画面に戻ります。
続けて消去を行う場合は、再度 🗑 を押して［消去］メニューから操作してください。

## すべての画像を消去する場合は

**1**

**▶モード(シングル再生画面)から 🗑 を押します。**

[消去] メニューが表示されます。

**2**

**[消去] メニューから【▲】【▼】で [すべての画像] を選び、 SETを押します。**

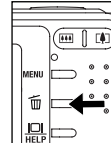
消去確認認の画面が表示されます。

- **この時点ではまだ消去されていません。**

**3**

**【▲】【▼】で [実行]／[キャンセル] を選び、SETを押します。**

・[実行]を選ぶと、すべての画像が消去され、「画像がありません」と表示されます。操作は慎重に行ってください。

・[キャンセル] を選ぶと、消去を中止して、シングル再生画面に戻ります。続けて消去を行う場合は、再度 🗑 を押して [消去] メニューから操作してください。

## 画像を選んで(複数)消去する場合は

**1**

**▶モード(シングル再生画面)から 🗑 を押します。**

[消去] メニューが表示されます。

**2**

**[消去] メニューから【▲】【▼】で [画像選択]を選び、 SETを押します。**

画像選択画面(インデックス表示)が表示されます。

**3**

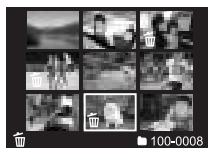
**【▲】【▼】【◀】【▶】で消去したい画像を選び、🗑 を押します。**

🗑 を押すと、選んだ画像に 🗑 が表示されます。再度 🗑 を押すと、🗑 表示が消え、選択は解除されます。

複数枚消去をする場合は、繰り返し【▲】【▼】【◀】【▶】で画像を選び、🗑 を押します。

- **この時点ではまだ消去されていません。**

**画像選択画面から、MENUを押すと、消去を中止してシングル再生画面に戻ります。**

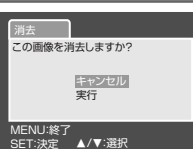
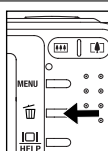
**4**

**画像を選んで、SETを押すと、選んだ画面が消去されます。**

シングル再生画面に戻ります。
操作は慎重に行ってください。

**画像を選んだ状態で、MENUを押すと、消去を中止してシングル再生画面に戻ります。**

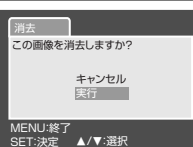
### クイック消去する場合は

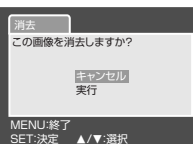
／モードから、一番最後に撮影した画像を消去することができます（クイック消去）。
撮影した直後に、すぐその画像を消去したい場合などに便利です。

**1**

**／モードから を押します。**

一番最後に撮影された画像の消去確認認の画面が表示されます。

- **この時点ではまだ消去されていません。**

**2**

**【▲】【▼】で［実行］／［キャンセル］を選び、SETを押します。**

・［実行］を選ぶと、画像が消去され、／モードに戻ります。
・［キャンセル］を選ぶと、消去を中止して、／モードに戻ります。

# テレビを使って再生／撮影する

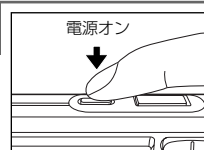
同梱のAVケーブルを使用すると、テレビに画像を表示して通常の撮影や再生ができます。

### テレビと接続する前に

テレビと接続する前に、テレビの方式を確認します。

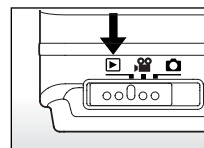
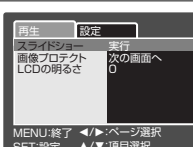
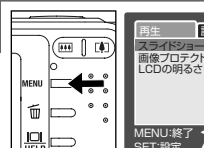
**NTSC**方式の主な国：**日本**、アメリカ、韓国、カナダなど
PAL方式の主な国　：イギリス、イタリア、スイス、スペイン、オーストラリア、オランダなど

**テレビの方式（ビデオモード）のお買い上げ時の設定は［NTSC］が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。**

**1**

**電源スイッチを押し、電源をオンにし、**

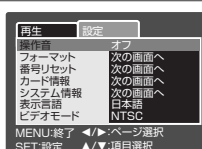
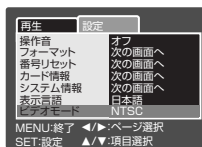
**モードスイッチを ▶ にします。**

最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

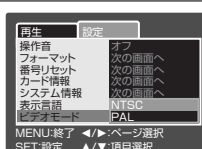
**2**

**MENUを押します。**

［再生］メニューが表示されます。

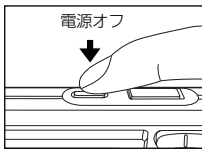
基本操作編　画像を消去する・テレビを使って再生／撮影する

**3**

［再生］メニューから【◀】【▶】で［設定］メニューを選び、

【▲】【▼】で［ビデオモード］を選び、

**SETを押します。**
選択画面が表示されます。

**4**

【▲】【▼】で［NTSC］／［PAL］を選び、

**SETを押します。**
選んだ内容を保持し［設定］メニューに戻ります。

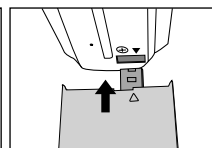
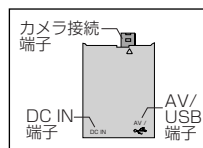
**5**

電源スイッチを押して電源をオフにします。

ここで選んだテレビの方式は、**初期設定に戻す** P37 操作や、電源をオフにした後も保持されます。



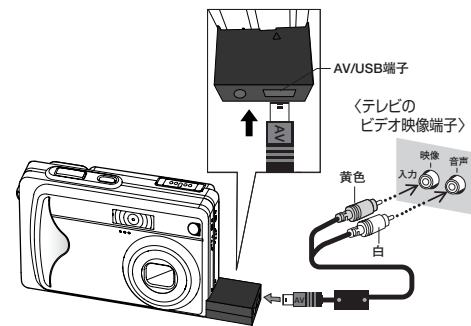
**1** **テレビと接続する前に** P59 に従って、テレビの方式を確認し、カメラの電源をオフにします。

**2**

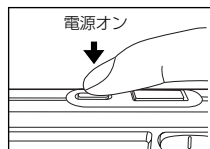
カメラ接続端子
DC IN端子
AV/USB端子

変換アダプター（付属）のカメラ接続端子を図の向きで、カメラ本体に差し込みます。

**無理に差し込まないでください。**

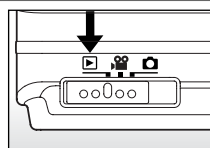
**3** AVケーブル（付属）のミニプラグを変換アダプターのAV端子（USB兼用）に差し込みます。

**4** AVケーブルのピンプラグ（黄色：映像、白：音声）を、テレビの映像入力端子、音声入力端子に接続します。

**5** テレビの電源をオンにして、テレビの入力切り替えをビデオ入力モードに切り替えます。

**6**

電源オン

**カメラの電源をオンにします。**

テレビに画像が表示されます。

**7**

**再生する場合は、モードスイッチを ▶ にします。**

- AVケーブルを接続したり、取り外すときは、必ずカメラとテレビの電源をオフにして行ってください。
- 接続した際は、AVケーブルをたるませてください。過度な力が加わると端子を破損する恐れがあります。
- テレビに接続しているときは、液晶モニターは表示されません。



# 応用操作編

より細かいカメラの設定内容について説明します。ご使用の目的に応じてお読みください。
応用操作編の各項の≪モードスイッチ設定≫の表記は、その項の機能や設定が使用できるモードを表しています。その項の機能や設定を行う場合は、モードスイッチをそのモードに合わせてご使用ください。

# 準備について

## ■ 表示言語を設定する

**モードスイッチ設定：📷／🎥／▶**

液晶モニターの表示言語は、以下の言語から選ぶことができます。

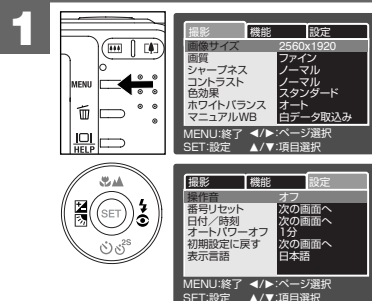
| | |
|---|---|
| 日本語 | イタリア語（Italiano） |
| 英語（English） | 中国語1（繁體中文） |
| フランス語（Français） | 中国語2（简体中文） |
| スペイン語（Español） | |

- 表示言語のお買い上げ時の設定は [日本語] が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。
- ここで選んだ表示言語は、**初期設定に戻す** P37 操作や、電源をオフにした後も保持されます。

**1**

**MENUを押して各メニューから、**

**【◀】【▶】で [設定] メニューを表示させます。**

**2**

**[設定] メニューから【▲】【▼】で**

**[表示言語] を選び、SETを押します。**

選択画面が表示されます。



**3**

**【▲】【▼】で表示言語を選び、**

**SETを押します。**

選んだ内容を保持し、[設定] メニューに戻ります。

## ■ 操作音のオン／オフを設定する

**モードスイッチ設定：📷／🎥／▶**

操作音の［オン］**初期設定**／［オフ］を設定できます。

**1**

**MENUを押して各メニューから、**

**【◀】【▶】で［設定］メニューを表示させます。**

**2**

**［設定］メニューから【▲】【▼】で［操作音］を選び、**

**SETを押します。**
選択画面が表示されます。

**3**

**【▲】【▼】で［オン］／［オフ］を選び、**

**SETを押します。**
選んだ内容を保持し、［設定］メニューに戻ります。

**ここで選んだ操作音の［オン］／［オフ］は、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す** **P37** **操作を行うと［オン］に戻ります。**



## ■ オートパワーオフの時間を設定する

**モードスイッチ設定：📷／🎥**

オートパワーオフの時間（1分 **初期設定**／2分／3分）を設定できます。

**オートパワーオフ機能について** **P34**

**1**

**MENUを押して［撮影メニュー］を表示させ、**

**【◀】【▶】で［設定］メニューを表示させます。**

**2**

**［設定］メニューから【▲】【▼】で［オートパワーオフ］を選び、**

**SETを押します。**
選択画面が表示されます。

**3**

**【▲】【▼】で［1分］／［2分］／［3分］を選び、**

**SETを押します。**
選んだ内容を保持し、［設定］メニューに戻ります。

- ここで選んだオートパワーオフの時間は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P37 操作を行うと[1分]に戻ります。
- **ACアダプターを使ってカメラを操作する** P69 場合もオートパワーオフ機能は有効です。
- **USB接続している** P109 P116 場合や**スライドショー再生** P97 をしている場合は、オートパワーオフ機能ははたらきません。
- 各項目を設定中にオートパワーオフ機能がはたらき電源がオフになったときは、その前に設定した内容が保持されていない場合があります。その場合は、再度設定し直してください。

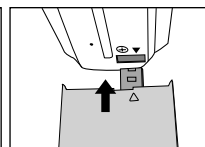
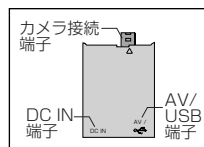


## ■ ACアダプター(付属)を使ってカメラを操作する

**モードスイッチ設定：**📷／🎥／▶

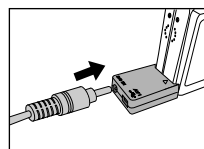
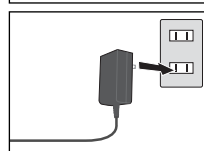
本機はACアダプターを使用して操作することができます。
テレビで再生する場合や、パソコン接続時、プリンタ接続時など、長時間カメラの電源をオンにする場合は、ACアダプターを使用するとバッテリーの消耗を軽減できます。

**1**

カメラの電源がオフになっているか確認します。オフになっていない場合は、電源スイッチを押して電源をオフにします。

**2**

変換アダプター(付属)のカメラ接続端子を図の向きで、カメラ本体に差し込みます。

❗ **無理に差し込まないでください。**

**3**

ACアダプター(付属)のミニプラグを変換アダプターのDC IN端子に、電源プラグ(もう片方)を壁の電源コンセントにしっかりと差し込みます。

バッテリーが入っている場合は、動作確認用ランプが、グリーンで点滅(充電中)または点灯(充電完了時)します。

- 以降の操作は通常の撮影時と同様です。

●同梱のACアダプターの取扱説明書、**ACアダプター使用時のご注意** P13 および**仕様** P132 を、あわせてお読みください。
●ACアダプターを接続したり、取り外すときは、必ずカメラの電源をオフにして行ってください。
●接続した際はACアダプターのケーブルをたるませてください。過度な力が加わると端子を破損する恐れがあります。
●ACアダプター接続時は、バッテリーからは電源が供給されません。
●ACアダプターはバッテリーを入れない状態でも使用できます。
●ACアダプターを接続時もオートパワーオフの設定 P67 は有効です。
●海外での使用については、**ACアダプター（付属）を海外で使用する場合は** P31 をご覧ください。

## ■ ファイル番号をリセットする

**モードスイッチ設定：**

次に撮影される画像ファイル番号を0001から記録したい場合に使用します。

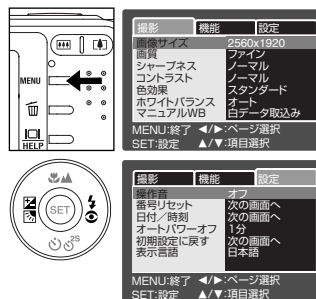
### フォルダ名とファイル名の基本ルール

フォルダ名とファイル名は以下のルールに従って、カメラが自動的に作成します。ファイル番号をリセットする操作を行うと、新しいフォルダが作成され、ファイル番号が0001から始まります。

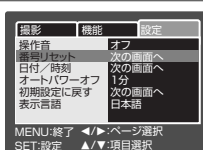
**フォルダ名について：**
XXX_HCAM
フォルダの通し番号（100～999）

**ファイル名について：**
HIMGYYYY.jpg（音声ファイルは.wav）（動画ファイルは.avi）
ファイルの通し番号（0001～9999）

●フォルダの通し番号はファイルの通し番号が9999を越えた場合や、ファイル番号をリセットする操作を行った場合に一つあがります。
●詳しいフォルダ構造については、**メモリーカード内のフォルダ構造** P134 をご覧ください。

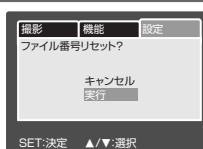
**1**

**MENUを押して各メニューから、**

【◀】【▶】で［設定］メニューを表示させます。

**2**

[設定] メニューから【▲】【▼】で [番号リセット] を選び、

**SETを押します。**

確認画面が表示されます。

**3**

【▲】【▼】で [実行] ／ [キャンセル] を選び、

**SETを押します。**

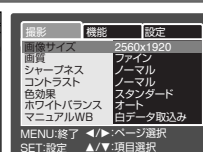
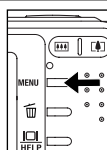
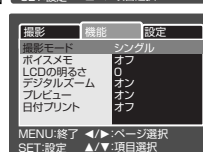
・[実行] を選ぶと、ファイル番号をリセットし、[設定] メニューに戻ります。
・[キャンセル] を選ぶと、ファイル番号リセットを中止して、[設定] メニューに戻ります

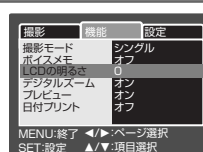


## ■ 液晶モニター(LCD)の明るさを設定する

**モードスイッチ設定：📷／🎥／▶**

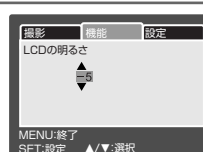
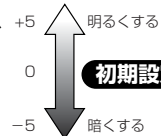
液晶モニターの明るさを11段階（−5〜+5、初期設定は [0]）で調整できます。

**1**

**MENUを押して各メニューから、**

【◀】【▶】で [機能] メニュー（▶ モードの場合は [再生] メニュー）を表示させます。

**2**

[機能] メニューから【▲】【▼】で [LCDの明るさ] を選び、

**SETを押します。**

設定画面が表示されます。

**3**

【▲】【▼】でLCDの明るさ（−5〜+5）を選び、

**SETを押します。**

選んだ内容を保持し、[機能] メニューに戻ります。

●ここで選んだLCDの明るさは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P37 操作を行うと [0] に戻ります。
●ここで選んだLCDの明るさは、撮影する画像には反映されません。撮影画像の明るさを設定する場合は、**露出（明るさ）を設定する** P78 をご覧ください。

## ■ プレビューのオン／オフを設定する　モードスイッチ設定：📷

📷 モードで、撮影後に撮影画像を表示するプレビューの設定（初期設定は［オン］）ができます。

**1**

**MENUを押して［撮影］メニューから、**

**【◀】【▶】で［機能］メニューを表示させます。**

**2**

**［機能］メニューから【▲】【▼】で［プレビュー］を選び、**

**SETを押します。**

選択画面が表示されます。

**3**

**【▲】【▼】で［オン］／［オフ］を選び、**

**SETを押します。**

選んだ内容を保持し、［機能］メニューに戻ります。

- ここで選んだプレビューの設定は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P37 操作を行うと［オン］に戻ります。
- 🎥 動画撮影時はプレビュー表示できません。
- **ボイスメモ撮影をする** P83 場合は、プレビュー設定は［オン］になります。



# 撮影（静止画・動画）について

## ■画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）を設定する

**モードスイッチ設定：📷／🎥**

目的に応じて、画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）を設定できます。
**📷 モード時と 🎥 モード時では設定できる内容が異なります。**

| 項目 | 📷 モード時 | 🎥 モード時 |
|---|---|---|
| 画像サイズ（記録画素数） | 2560x1920（約500万画素） **初期設定**<br>2048x1536（約315万画素）<br>1280x960（約123万画素）<br>640x480（約31万画素） | 640x480 **初期設定**<br>320x240 |
| 画質（圧縮率） | ★★★ ファイン **初期設定**（低圧縮（1/4）モード）<br>★★ スタンダード（標準圧縮（1/8）モード）<br>★ エコノミー（高圧縮（1/16）モード） | ★★★ ファイン（低圧縮モード）<br>★★ スタンダード **初期設定**（標準圧縮モード） |

- 各画像サイズや画質での記録枚数やデータサイズについては、**画像記録枚数及び時間／データサイズ** P131 をご覧ください。
- ここで選んだ画像サイズ、画質は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P37 操作を行うと、各項目の初期設定に戻ります。

## 画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）について

画像サイズを大きくし、画質をファインにすると、画像はよりきれいになりますが、データ容量は大きくなり、メモリなどに記録できる画像枚数が少なくなります。
以下の内容を目安にお試しいただき、目的に応じた設定をしてください。

| 項目 | 設定内容 | | 用途の目安 |
|---|---|---|---|
| 画像サイズ（記録画素数） | 2560x1920 | 大きい | ・大切な画像を撮影したり、A4サイズなどでプリントしたい場合 |
| | 2048x1536 | ↕ | |
| | 1280x960 | | ・L判サイズでプリントしたい場合 |
| | 640x480 | 小さい | ・より多くの画像を撮影したい場合や、メール添付用などインターネット上で使用したい場合 |
| 画質（圧縮率） | ★★★ ファイン | 低圧縮 | ・より良い画質で撮影やプリントしたい場合（画質優先） |
| | ★★ スタンダード | ↕ | |
| | ★ エコノミー | 高圧縮 | ・より多くの画像を撮影したい場合（撮影枚数優先） |

## 画像サイズを設定する場合

**モードスイッチ設定：📷／🎥**

**1**

**MENUを押して［撮影］メニューを表示させます。**

**2**

**［撮影］メニューから【▲】【▼】で［画像サイズ］を選び、**

**SETを押します。**
選択画面が表示されます。



**3**

**【▲】【▼】で画像サイズを選び、**

**SETを押します。**
選んだ内容を保持し、［撮影］メニューに戻ります。

## 画質を設定する場合

**モードスイッチ設定：📷／🎥**

**1**

**MENUを押して［撮影］メニューを表示させます。**

**2**

**［撮影］メニューから【▲】【▼】で［画質］を選び、**

**SETを押します。**
選択画面が表示されます。

**3**

**【▲】【▼】で画質を選び、**

**SETを押します。**
選んだ内容を保持し、［撮影］メニューに戻ります。

# ■ 露出（明るさ）を設定する

**モードスイッチ設定：📷**

逆光時の撮影や、間接照明の室内での撮影、背景が明るい場所での撮影など被写体が暗くなってしまった場合に露出を補正できます。

露出を補正する方法には、
**・露出補正の段階を設定して撮影する方法**
**・逆光補正モード で撮影する方法**
があります。

## 露出補正の段階を設定して撮る

設定できる露出補正の段階（単位：EV（Exposure Value、露出量を表す単位））：
−2.0、−1.7、−1.3、−1.0、−0.7、−0.3、0.0、+0.3、+0.7、+1.0、+1.3、+1.7、+2.0

**1**

（2回押す）

**📷モードから、（【◀】）を2回押します。**

→ の順で液晶モニターにアイコンが表示され、露出値がブルーで表示されます。

**2 【▲】【▼】で、露出補正の段階（露出補正値）を選び、（【◀】）を押します。**

露出補正値の表示が白に切り替わり、固定されます。

● **以降の操作は通常の撮影時と同様です。**

- 設定した露出補正の段階はシャッターボタン半押し時に有効になります。
  半押ししても適正な露出が得られていない場合は、再度【▲】【▼】で、露出値を変更してください。
- ヒストグラムを表示させながら、露出補正の段階を設定するとより効果的な補正ができます。
  ヒストグラム表示については、**液晶モニターの表示切替について** P22 をご覧ください。
- ここで選んだ露出補正の段階は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P37 操作を行うと [0.0] に戻ります。
- 本機には露出補正の段階を自動的に変えながら連写撮影（3枚）するAE連写モードが搭載されています。
  詳しくは、**連写撮影をする（通常連写・AE連写）** P86 をご覧ください。

## 逆光補正モードで撮る

逆光補正モードに設定すると、露出補正の段階を+1.3EVに固定して、ストロボオートモードを選んでいる場合は、ストロボを強制発光して撮影します。
ストロボ発光禁止モードを選んでいる場合は、ストロボは発光しません。

**1**

（1回押す）

**📷モードから、（【◀】）を1回押します。**

液晶モニターに が表示され、逆光補正モードに設定されたことをおしらせします。

● **以降の操作は通常の撮影時と同様です。**

- 逆光補正モードはシャッターボタン半押し時に有効になります。
  半押ししても適正な露出が得られていない場合は、**露出補正の段階を設定して撮る**に従って、露出補正の段階を設定してください。
- 逆光補正モードを選んだあとに、ストロボモードの設定を変更すると、変更した内容が優先されます。
- ここで設定した逆光補正モードは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P37 操作を行うと解除されます。

## ■ ホワイトバランスを設定する

**モードスイッチ設定：**

撮影時の光源に合わせて、被写体をより自然な色合いで撮影できるように白を基準に色味を調整するホワイトバランスを設定できます。

(表示なし) **オート**：カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。
(色温度3,000〜6,500K) **初期設定**

- **白熱灯**：白熱灯下での撮影（色温度3,000K）
- **蛍光灯1**：蛍光灯下での撮影（色温度5,000K）
- **蛍光灯2**：蛍光灯下での撮影（色温度6,500K）
- **晴天**：太陽光での撮影（色温度5,000K）
- **曇天**：曇天での撮影（色温度5,700K）
- **マニュアル**：白い紙などを使って、その場の光源に合わせて手動で設定します。

**1**

**MENUを押して［撮影］メニューを表示させます。**

**2**

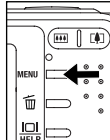
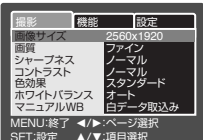
**［撮影］メニューから【▲】【▼】で［ホワイトバランス］を選び、**

**SETを押します。**
選択画面が表示されます。

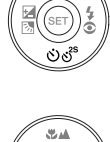
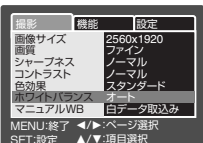
**3**

**【▲】【▼】でホワイトバランスの種類を選び、**

**SETを押します。**
選んだ内容を保持し、［撮影］メニューに戻ります。

**ここで選んだホワイトバランスは、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す** P37 **操作を行うと［オート］に戻ります。**



## ホワイトバランスを手動（マニュアル）で設定する場合は

白い紙など、白を基準としたいものをカメラに記憶させ、その場の光源で最適なホワイトバランスを設定できます。
特に以下のような場合は、オートモードではホワイトバランスが調整できない場合がありますので、マニュアルホワイトバランスを設定することをおすすめします。
—近距離（マクロ）で撮影する場合　—単一な色の被写体（空、海など）を撮影する場合
—水銀灯など特殊な光源下で撮影する場合

**1**

**MENUを押して［撮影］メニューを表示させます。**

**2**

**［撮影］メニューから【▲】【▼】で［マニュアルWB］を選び、**

**SETを押します。**
マニュアルWB設定（白データ取込み）画面が表示されます。

**3**

**カメラを白い紙などに向け、液晶モニターの中央の枠いっぱいに白い部分が表示されるように構図を決めて、【▲】【▼】で［実行］を選び、SETを押します。**
［実行］を選ぶと、白データが取り込まれ、［撮影］メニューに戻ります。［ホワイトバランス］は自動的に［マニュアル］に切り替わります。

- **一度設定したマニュアルホワイトバランスは、再度白データを取り込まない限り、保持されます。**
- **撮影をする場合は、白データを取り込んだときと同じ条件下で撮影してください。条件が異なると、最適なホワイトバランスが得られない場合があります。**

## ■ 色効果を設定する

モードスイッチ設定：静止画／動画

撮影画像の色効果を設定できます。

**スタンダード**：通常の撮影時の設定です。**初期設定**

**鮮明**：コントラストと色の濃さを強調し、よりくっきりとした色合いで撮影します。

**セピア**：セピア色で撮影します。

**白黒**：白黒で撮影します。

**1**

**MENUを押して［撮影］メニューを表示させます。**

**2**

**［撮影］メニューから【▲】【▼】で［色効果］を選び、**

**SETを押します。**

選択画面が表示されます。

**2**

**【▲】【▼】で色効果の種類を選び、**

**SETを押します。**

選んだ内容を保持し、［撮影］メニューに戻ります。

**ここで選んだ色効果は、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す P37 操作を行うと［スタンダード］に戻ります。**



## ■ ボイスメモ撮影をする

モードスイッチ設定：静止画

静止画撮影時に、最長約30秒のボイスメモ（音声）を録音することができます。

記録されたボイスメモは、撮影した静止画像と同ファイル名で、拡張子が「.WAV」で記録されます。**メモリーカード内のフォルダ構造** P134

撮影した静止画像に、あとからボイスメモ（音声）を録音すること（**アフレコ機能**）もできます。P103

### ボイスメモ（音声）ファイルについて

| 記録ファイルフォーマット | WAV（PCM方式）/モノラル |
|---|---|
| 録音時間 | 最長約30秒 |

**ボイスメモ（音声）ファイル（ファイル形式：WAV）をパソコンで再生するには、Windows Media Playerなどの記録ファイルフォーマットに対応した再生用のソフトウェアが必要です。**

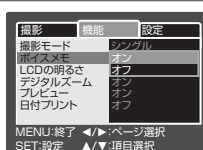
**1**

**MENUを押して［撮影］メニューから、**

**【◀】【▶】で［機能］メニューを表示させます。**

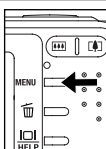
**［機能］メニューから【▲】【▼】で［ボイスメモ］を選び、**

**SETを押します。**

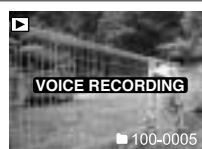
選択画面が表示されます。

**【▲】【▼】で［オン］を選び、**

**SETを押します。**

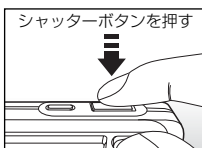
選んだ内容を保持し、［機能］メニューに戻ります。

**4**

**MENUを押して、［撮影］メニューを終了します。**

液晶モニターに 🎙 が表示されます。

**5**

**構図を決め、シャッターボタンを押して、通常の撮影を行うと、撮影された画像がプレビュー表示され、VOICE RECORDING の表示で、ボイスメモ録音を開始します。**

録音中は動作確認用ランプ（レッド）が点灯します。

**6**

**ボイスメモ録音をストップする場合は、シャッターボタンを押します。**

VOICE RECORD END と表示され、ボイスメモ録音をストップします。

- ボイスメモ録音は、最長約30秒です。シャッターボタンを押さなくても、約30秒で自動的にストップします。
- メモリ残量が少ない場合は、録音できない場合があります。
- カメラ前面部にあるマイクを指などでふさがないようにご注意ください。また録音の対象がカメラから離れるときれいに録音できません。
- 一度録音したボイスメモを録音し直すことはできません。
- ボイスメモ撮影したボイスメモ（音声）付き静止画を再生する場合は、**ボイスメモを再生する** P104 をご覧ください。
- ボイスメモ撮影は、撮影モードを［連写］、［AE連写］に設定している場合は使用できません。
- ボイスメモを［オン］に設定している場合でも、**セルフタイマー撮影** P89 の ⏲ 10+2s を使用すると、ボイスメモは録音されません。
- ここで選んだボイスメモの設定は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P37 操作を行うと［オフ］に戻ります。

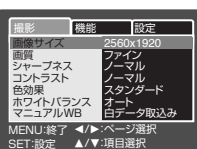
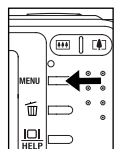
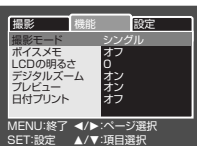
## ■ 連写撮影をする（通常連写・AE連写）

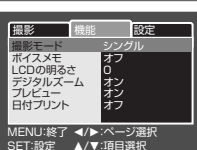
**モードスイッチ設定：**

本機は連写撮影をすることができます。
連写撮影には、

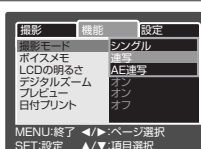
・**通常連写**：通常の連写撮影で、最大3枚まで（約0.6秒間隔）の連写撮影ができます。
・**ＡＥ連写**：露出補正の段階を自動的に変えながら3枚（0.0、−0.7EV、+0.7EV）の画像を撮影します。
被写体の明るさによってうまく撮影できない場合などに、AE連写で撮影すると、撮影したあとに最適な露出の画像を選ぶことができます。
（AE：Auto Exposureの略）

の2種類があります。目的に応じて設定してください。

**1**

**MENUを押して［撮影］メニューから、**

**【◀】【▶】で［機能］メニューを表示させます。**

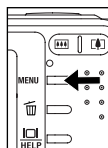
**2**

**［機能］メニューから【▲】【▼】で［撮影モード］を選び、**

**SETを押します。**
選択画面が表示されます。

**3**

**【▲】【▼】で［シングル］／［連写］／［AE連写］を選び、**

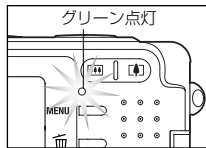
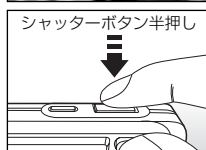
**SETを押します。**
選んだ内容を保持し、［機能］メニューに戻ります。

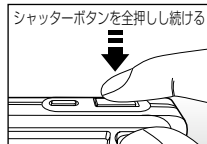
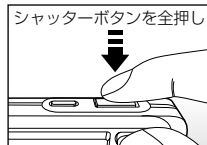
**［シングル］は通常の1枚ずつ撮影するモードです。初期設定**

**4**

**MENUを押して、［撮影］メニューを終了します。**
液晶モニターに が表示されます。

**［AE連写］を選ぶと、液晶モニターには AEB が表示されます。**

**5**

**被写体をフォーカスフレームに合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます（フォーカスロック）。** **ピントについて P40**

**6** 半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。

- **[連写] モードを選んでいる場合は、全押しし続けます。**最大3枚の画像を連写撮影します。
  連写の途中で、シャッターボタンを離すと、そこで連写撮影をストップします。

- **[AE連写] モードを選んでいる場合は、全押しし続ける必要はありません。**1回のシャッターボタンの操作で、自動的に3枚の画像を連写撮影します。

- 操作音の設定が [オン] になっている場合（初期設定は [オン] P66）は、シャッター音で撮影されたことをおしらせします。
- プレビューの設定が [オン] になっている場合（初期設定は [オン]）は、撮影された画像が液晶モニターに表示されます。
- 撮影したあとに、動作確認用ランプ（レッド）が点灯している場合は、メモリーカードへ画像記録中のため、次の撮影はできません。

- 選んだ撮影モードは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P37 操作を行うと [シングル] に戻ります。
- [連写] ／ [AE連写] を選んでいる場合は、ストロボは発光しません。Ⓢ モードになります。
- [連写] ／ [AE連写] を選んでいる場合は、**セルフタイマー撮影**の 10+2s を選ぶことはできません。
- [連写] ／ [AE連写] を選んでいる場合は、**ボイスメモ撮影** P83 をすることはできません。

## ■ セルフタイマーで撮る

**モードスイッチ設定：📷 ／ 🎥**

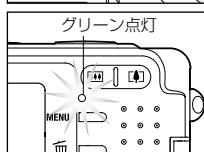
本機はセルフタイマー機能を使用して撮影することができます。
セルフタイマー撮影を行う場合は、三脚を使用するなどしてカメラを固定して撮影してください。

- **10s** ：10秒後に撮影されます。
- **2s** ： 2秒後に撮影されます。
  ・ 手ぶれ注意マークが表示されている場合などに、シャッターボタンを押し押したときのカメラぶれを防ぐのに効果的です。
- **10+2s**：10秒後と2秒後に2回撮影されます。（📷 モード時のみ）
  ・集合写真などを撮影する場合に、念の為に2回撮影しておきたい場合などに便利です。

**1** **📷 ／ 🎥 モードで、（【▼】）を繰り返し押して、セルフタイマーのタイマー時間を選びます。**
液晶モニターに選んだタイマー時間がアイコン表示されます。

**2** **被写体をフォーカスフレームに合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます（フォーカスロック）。ピントについて** P40

応用操作編
連写撮影をする（通常連写・AE連写）・セルフタイマーで撮る

**3**

**半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。**

・セルフタイマーランプ（レッド）の点滅と液晶モニター内に数字がカウントダウン表示され、セルフタイマー撮影を開始し、選んだタイマー時間後に撮影されます。

●操作音の設定が［オン］になっている場合（初期設定は［オン］P66）は、“ピッピッピッピッ”という音とシャッター音で、セルフタイマー撮影の動作をおしらせします。

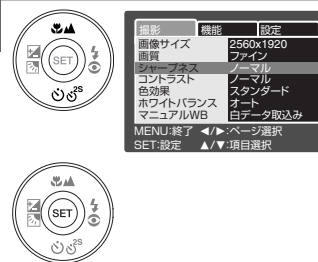
●セルフタイマー撮影を途中で解除する場合は、SETを押します。
●撮影モードを［連写］、［AE連写］に設定している場合P86は、 10+2s はできません。
● 10+2s を設定している場合は、［ボイスメモ］の設定に関わらず、音声を録音することはできません。
 10s ／ 2s を設定している場合は、ボイスメモ撮影は有効です。
●撮影時の各設定（画像サイズ、画質、ズーム、ホワイトバランス、露出など）はセルフタイマー時も有効です。
●一度セルフタイマー撮影を行うと、セルフタイマー機能は解除されます。続けてセルフタイマー撮影を行う場合は、再度設定し直してください。

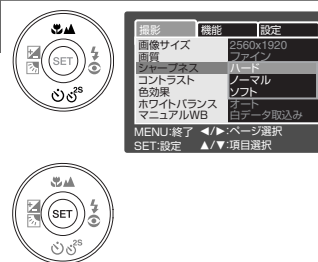
## ■ シャープネスを設定する

**モードスイッチ設定：**

撮影画像のシャープネス（鮮鋭度）を設定できます。
ハード　：鮮鋭度が高い
ノーマル：**初期設定**
ソフト　：鮮鋭度が低い

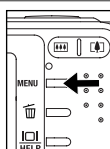
**1**

**MENUを押して［撮影］メニューを表示させます。**

**［撮影］メニューから【▲】【▼】で［シャープネス］を選び、**

**SETを押します。**
選択画面が表示されます。

**【▲】【▼】で［ハード］／［ノーマル］／［ソフト］を選び、**

**SETを押します。**
選んだ内容を保持し、［撮影］メニューに戻ります。

ここで選んだシャープネスは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す**P37操作を行うと［ノーマル］に戻ります。

## ■ コントラストを設定する　　モードスイッチ設定：📷／🎥

撮影画像のコントラスト（明暗の差）を設定できます。

**ハード**　：明暗がはっきりする
**ノーマル**：**初期設定**
**ソフト**　：明暗が平坦になる

**1**

**MENUを押して［撮影］メニューを表示させます。**

**2**

**［撮影］メニューから【▲】【▼】で［コントラスト］を選び、**

**SETを押します。**
選択画面が表示されます。

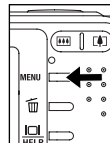
**3**

**【▲】【▼】で［ハード］／［ノーマル］／［ソフト］を選び、**

**SETを押します。**
選んだ内容を保持し、［撮影］メニューに戻ります。

**ここで選んだコントラストは、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す** **P37** **操作を行うと［ノーマル］に戻ります。**



## ■ ISO感度（撮像感度）を設定する　　モードスイッチ設定：📷

ISO感度を設定できます。
ISO感度とは、写真用フイルムの感度を表す単位で、光を感じる能力を数値化したものです。数字の大きいものほど感度が高く、少ない光（暗い場所）での撮影が可能になりますが、画像にノイズが増えます。
ノイズが気になる場合は、ISO感度をなるべく低く設定してください。

**50**　：ISO50相当　　感度が低い
**100**　：ISO100相当
**200**　：ISO200相当　　感度が高い
**オート**：カメラが自動的に撮像感度を設定します。

**1**

**MENUを押して［撮影］メニューを表示させます。**

**2**

**［撮影］メニューから【▲】【▼】で［ISO感度］を選び、**

**SETを押します。**
選択画面が表示されます。

**3**

**【▲】【▼】で ［50］／［100］／［200］／［オート］を選び、**

**SETを押します。**
選んだ内容を保持し、［撮影］メニューに戻ります。

**ここで選んだISO感度は、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す** **P37** **操作を行うと［オート］に戻ります。**

## ■ 測光方式を設定する

**モードスイッチ設定：📷**

測光方式を切り替えて撮影できます。

（表示なし）**マルチ測光**：中央部重点平均測光で、画面中央部の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光します。**初期設定**

⊡ **スポット測光**　：液晶モニター中央部のフォーカスフレーム内を測光します。画面中央の被写体に露出を合わせたい場合に使用します。

**1**

**MENUを押して［撮影］メニューを表示させます。**

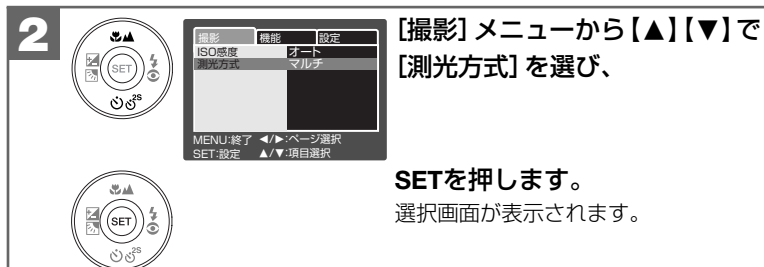
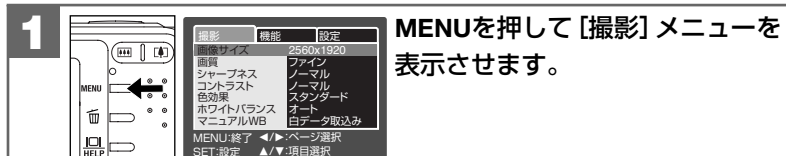
**2**

**［撮影］メニューから【▲】【▼】で［測光方式］を選び、**

**SETを押します。**
選択画面が表示されます。

**3**

**【▲】【▼】で［マルチ］／［スポット］を選び、**

**SETを押します。**
選んだ内容を保持し、［撮影］メニューに戻ります。

**ここで選んだ測光方式は、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す** P37 **操作を行うと［マルチ］に戻ります。**

## ■ 日付プリントを設定する

**モードスイッチ設定：📷**

撮影画像に撮影時の日付を焼き付けることができます。

**日付プリントの設定を［オン］にして撮影すると、撮影画像のJPEGファイル自体（右下部）に日付が焼き付けられます。プリンタなどの設定でファイルの日付情報を印刷する操作とは異なりますのでご注意ください。**

**1**

**MENUを押して［撮影］メニューから、**

**【◀】【▶】で［機能］メニューを表示させます。**

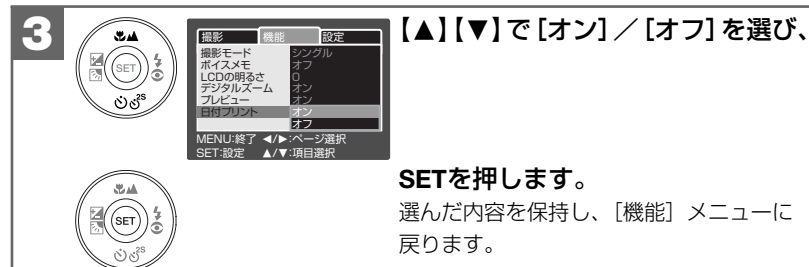
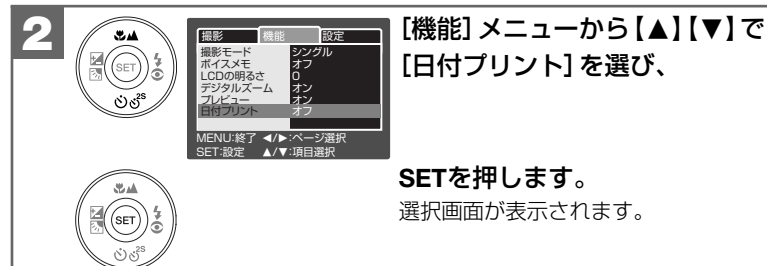
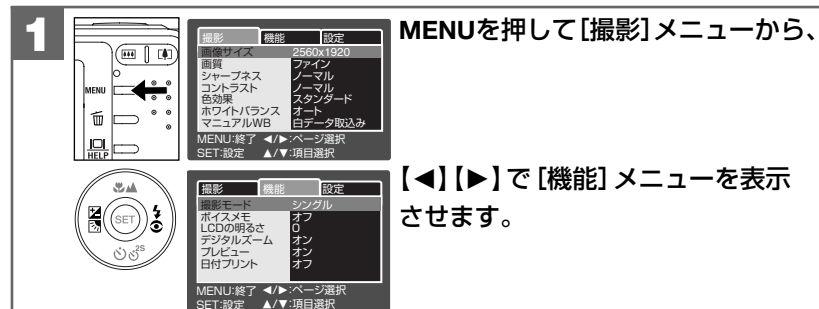
**2**

**［機能］メニューから【▲】【▼】で［日付プリント］を選び、**

**SETを押します。**
選択画面が表示されます。

**3**

**【▲】【▼】で［オン］／［オフ］を選び、**

**SETを押します。**
選んだ内容を保持し、［機能］メニューに戻ります。

- ここで選んだ日付プリントは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P37 操作を行うと [オフ] に戻ります。
- 日付プリントの文字はブルーのため、背景が同様の色の場合は文字が見えにくい場合があります。
- 日付プリントの形式や、文字の色や大きさを設定することはできません。

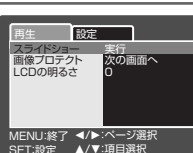
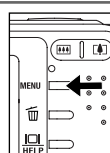


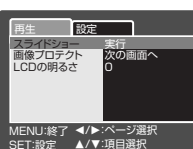
# 再生(静止画・動画)について

## ■ スライドショー再生をする

**モードスイッチ設定：▶**

メモリ内にあるすべての静止画像を約3秒間隔でスライドショー再生することができます。

**1**

**MENUを押して [再生] メニューを表示させます。**

**2**

**[再生] メニューから【▲】【▼】で [スライドショー] を選び、**

**SETを押します。**

液晶モニターに アイコンが表示され、メモリ内にある一番最初の静止画像からスライドショー再生を開始します。

→
→
……

・再生中に、**SET**や**MENU**を押すと、スライドショー再生をストップします。

- 動画像はスライドショー再生されません。
- スライドショー再生中の表示は切り替えることはできません。
- スライドショー再生中は**オートパワーオフ機能** P34 ははたらきません。

## ■ 画像プロテクトを設定する

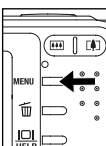
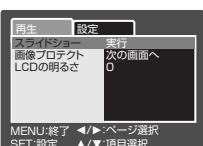
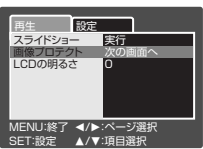
**モードスイッチ設定：▶**

誤操作による画像の消去などを防止するために、画像ファイルにプロテクトをかけることができます。
画像プロテクトを設定する方法には、

- **1枚ずつプロテクトを設定する**
- **すべての画像のプロテクトを設定する**
- **画像を選んで（複数）プロテクトを設定する**

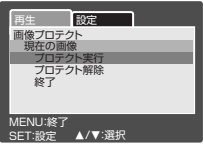
の3つの方法があります。

- **プロテクトされた画像は消去できません。消去したい場合は、プロテクト設定を解除してください。**
- **プロテクトされた画像は、画像の消去時は有効ですが、フォーマットする P105 操作を行うと消去されます。**
- **プロテクトを設定していなくても、メモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチ P33 を、「LOCK」側にすると画像の消去はできません。**

### 1枚ずつプロテクトを設定する場合は

**1**

**【◀】【▶】でプロテクトを設定したい画像を選びます。**
動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。

**MENUを押して［再生］メニューを表示させます。**

**3**

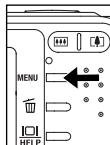
**［再生］メニューから【▲】【▼】で［画像プロテクト］を選び、**

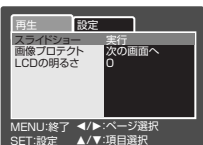
**SETを押します。**
画像プロテクトの方法選択画面が表示されます。

**【▲】【▼】で［現在の画像］を選び、**

**SETを押します。**
プロテクト確認の画面が表示されます。

**【▲】【▼】で［プロテクト実行］／［プロテクト解除］／［終了］を選び、**

**SETを押します。**
選んだ内容を実行し、シングル再生画面に戻ります。
続けてプロテクト設定を行う場合は、再度**MENU**を押して［再生］メニューから操作してください。

・［プロテクト実行］を選ぶと、選んだ画像がプロテクトされ、液晶モニターに 🔒 が表示されます。

**液晶モニターの表示が「画像のみ」に設定されている場合は、🔒 は表示されません。**

・［プロテクト解除］を選ぶと、選んだ画像のプロテクトが解除されます。
・［終了］を選ぶと、プロテクト設定を終了します。

## すべての画像のプロテクトを設定する場合は

**1**

**MENUを押して［再生］メニューを表示させます。**

**2**

**［再生］メニューから【▲】【▼】で［画像プロテクト］を選び、**

**SETを押します。**

画像プロテクトの方法選択画面が表示されます。

**3**

**【▲】【▼】で［すべての画像］を選び、**

**SETを押します。**

プロテクト確認の画面が表示されます。

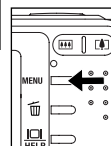


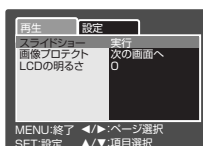
**4**

**【▲】【▼】で［プロテクト実行］／［プロテクト解除］／［終了］を選び、**

**SETを押します。**

選んだ内容を実行し、シングル再生画面に戻ります。

続けてプロテクト設定を行う場合は、再度**MENU**を押して［再生］メニューから操作してください。

・［プロテクト実行］を選ぶと、すべての画像がプロテクトされ、液晶モニターに🔒が表示されます。

**液晶モニターの表示が「画像のみ」に設定されている場合は、🔒は表示されません。**

・［プロテクト解除］を選ぶと、すべての画像のプロテクトが解除されます。

・［終了］を選ぶと、プロテクト設定を終了します。

## 画像を選んで（複数）プロテクトを設定する場合は

**1**

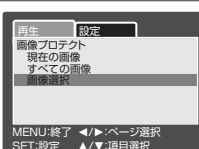
**MENUを押して［再生］メニューを表示させます。**

**2**

**［再生］メニューから【▲】【▼】で［画像プロテクト］を選び、**

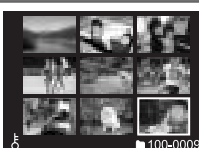
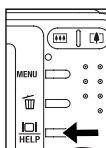
**SETを押します。**

画像プロテクトの方法選択画面が表示されます。

**3**

**【▲】【▼】で [画像選択] を選び、**

**SETを押します。**

画像選択画面（インデックス表示）が表示されます。

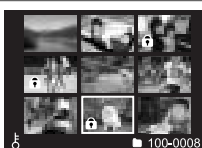
**4**

**【▲】【▼】【◀】【▶】でプロテクトを設定したい画像を選び、**

**IOIを押します。**

IOI を押すと、選んだ画像に 🔒 が表示されます。

再度 IOI を押すと、 🔒 表示が消え、選択は解除されます。

・複数枚画像プロテクトを設定する場合は、繰り返し【▲】【▼】【◀】【▶】で画像を選び、 IOI を押します。

**画像選択画面から、MENUを押すと、プロテクトの設定を中止してシングル再生画面に戻ります。**
**続けてプロテクトを設定する場合は、再度MENUを押して、[再生] メニューから操作してください。**

**5**

**プロテクトの設定を選んだら、SETボタンを押します。**

選んだ内容を実行し、シングル再生画面に戻ります。

続けてプロテクト設定を行う場合は、再度**MENU**を押して［再生］メニューから操作してください。



## ■ 撮影したあとにボイスメモ(音声)を入れる(アフレコ機能)

**モードスイッチ設定：▶**

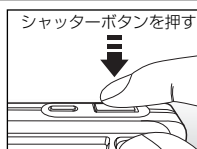
ボイスメモ撮影の設定 P83 を［オン］にして撮影しなくても、撮影した画像にあとからボイスメモ（音声）を入れる（録音する）ことができます。

- **既に録音されているボイスメモや一度録音したボイスメモを録音し直すことはできません。また、録音されたボイスメモ（音声）のみを消去することはできません。**
- **アフレコ機能は、ボイスメモが録音されていない静止画像にのみ有効です。動画像にボイスメモを入れることはできません。**
- ボイスメモ（音声）ファイルについては、**ボイスメモ（音声）ファイルについて** P83 をご覧ください。

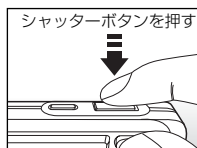
**1**

**【◀】【▶】でボイスメモを入れたい静止画像を選びます。**

既にボイスメモが録音されている画像には 🎙 が表示されます。

**2**

シャッターボタンを押す

**シャッターボタンを押すと、VOICE RECORDING の表示で、ボイスメモ録音を開始します。**

**3**

**ボイスメモ録音をストップする場合は、シャッターボタンを押します。**

VOICE RECORD END と表示され、ボイスメモ録音をストップします。

- **ボイスメモ録音は、最長約30秒です。シャッターボタンを押さなくても、約30秒で自動的にストップします。**
- **メモリ残量が少ない場合は、録音できない場合があります。**
- **カメラ前面部にあるマイクを指などでふさがないようにご注意ください。また録音の対象がカメラから離れるときれいに録音できません。**

## ■ ボイスメモを再生する

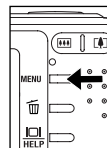
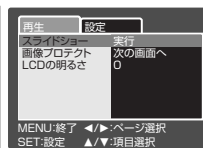
**モードスイッチ設定：▶**

ボイスメモ撮影やアフレコ機能で録音したボイスメモを再生することができます。

**1**

**【◀】【▶】でボイスメモが録音されている静止画像を選びます。**

既にボイスメモが録音されている画像には 🎙 が表示されます。

**2**

**SETを押すと、VOICE PLAYBACK と表示され、録音されたボイスメモの再生を開始します。**

**3**

**ボイスメモ再生をストップする場合は、シャッターボタンを押します。**

ボイスメモ再生をストップします。

# 消去について

## ■ メモリーカードをフォーマットする

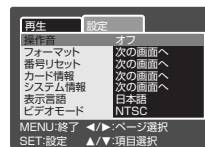
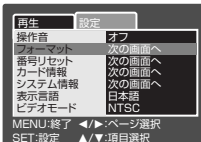
**モードスイッチ設定：▶**

- **SDメモリーカード使用時のご注意** P11 をあわせてお読みください
- メモリーカードをフォーマット（初期化）するとメモリーカードの内容がすべて消去されますので、内容をよく確かめてから操作してください。

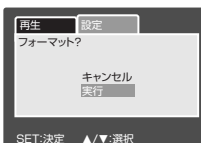
※**プロテクトされている画像** P98 **も消去されます。**

- 新しいメモリーカードを使用される場合は、一度フォーマットをしてから使用されることをおすすめします。
- 他のデジタルカメラやパソコンで使用されたメモリーカードを使用する場合は、本機でフォーマット（初期化）してから使用してください。
- フォーマット行うときは、必ず本機でフォーマットしてください。パソコンでフォーマットすると処理速度が遅くなったり、互換性・性能等で問題が生じる場合があります。
- フォーマットを行うときは、バッテリー残量を確認してから行ってください。フォーマット中に電源がオフになると、正しくフォーマットされず、メモリーカードが正常に使用できない場合があります。

**1**

**MENUを押して［再生］メニューから、【◀】【▶】で［設定］メニューを表示させます。**

**2**

**[設定] メニューから【▲】【▼】で[フォーマット] を選び、SETを押します。**

- **この時点ではまだフォーマットされていません。**

**3**

**【▲】【▼】で [実行] ／ [キャンセル] を選び、SETを押します。**

・[実行]を選ぶと、フォーマットが実行され、「画像がありません」と表示されます。操作は慎重に行ってください。

・[キャンセル] を選ぶと、フォーマットを中止して、[設定] メニューに戻ります。



# パソコン接続編

パソコンに接続して画像ファイルを取り込む方法について説明します。

## ■ パソコンの動作環境を確認する

パソコンとUSB接続（撮影画像の取り込みなど）する場合には、以下の条件が揃っていることが必要です。
接続する前に必ずご確認ください。

□OS：Microsoft Windows Me/2000/XP 日本語版
□USBインターフェース（1.1仕様）を標準装備している機種

- OSはプリインストールしたモデルに限ります。自作パソコンや上記のOSでもアップグレードされた場合の動作は保証いたしません。
- USBハブや拡張USBボードに接続した場合の動作は保証いたしません。
- 機器の構成によっては正常に動作しない場合があります。

## ■ 画像ファイルをパソコンにコピーするまでの流れ

**1 USBケーブルでパソコンと接続する** P109
初回接続時は自動的にパソコンがカメラを認識する動作をを行うため、
[新しいハードウェアが見つかりました]ウィザードが表示される場合があります。

↓

**2 [マイコンピュータ]を開き、[リムーバブルディスク]（=カメラ）内から画像ファイルをパソコンにコピーする** P112

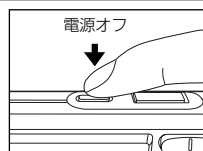
↓

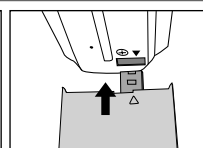
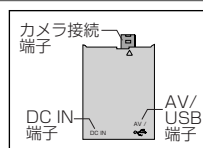
**3 カメラを取り外す** P114

# 1 USBケーブルでパソコンと接続する

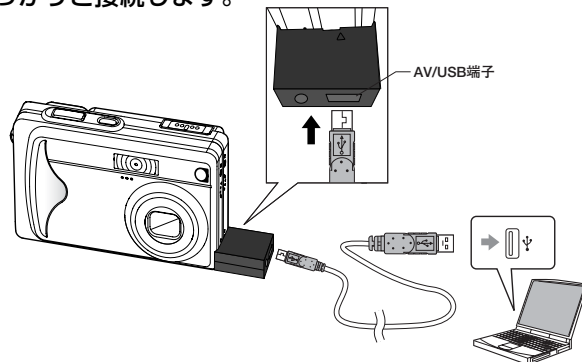
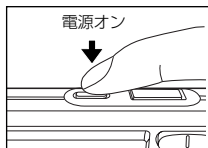
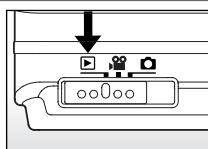
**USB接続時のご注意**

- カメラとパソコンを接続する場合は、必ずカメラの電源をオフにして行ってください。
- USB接続中は**オートパワーオフ機能** P34 ははたらきません。
- カメラとパソコンを接続する場合は、バッテリー残量が十分にあることを必ず確認してください。
  パソコンとの接続中は、オートパワーオフ機能などははたらきませんが、バッテリー残量がなくなると、カメラは途中で電源がオフになります。
  接続中にカメラの電源がオフになると、パソコンが正常に動作しなくなったり、記録されているデータが破損する恐れがあります。
  長時間ご使用の場合は、ACアダプター（付属）でのご使用 P69 をおすすめします。
- 電源はパソコン本体から供給されません。
- コピー（通信）中はUSBケーブルを抜いたり、カメラの電源をオフにしたりなど、カメラの操作をしないでください。記録されているデータが破損する恐れがあります。
- カメラを取り外すときは、必ず**カメラを取り外すときは** P114 に従って操作してください。

**1**

カメラの電源がオフになっているか確認します。オフになっていない場合は、電源スイッチを押して電源をオフにします。

**2**

変換アダプター（付属）のカメラ接続端子を図の向きで、カメラ本体に差し込みます。

**❗ 無理に差し込まないでください。**

## 3 USBケーブルの大きいコネクタをパソコン本体のUSBポートへ接続し、小さいコネクタを変換アダプターのUSB端子（AV兼用）へしっかりと接続します。

## 4 モードスイッチを ▶ にして、

カメラの電源をオンにします。

[USB] メニュー（USB接続モードの選択画面）が表示されます。

- カメラの動作モードは、モードスイッチの位置に関わらずUSB接続モードになりますが、レンズが収納されたまま電源がオンになる ▶ モードで使用することをおすすめします。

## 5 【▲】【▼】で [パソコン接続] を選び、

**SETを押します。**

液晶モニターに、**USB**と表示され、パソコン接続モードになったことをおしらせします。

- [プリンタ接続] はPictBridgeに対応したプリンタに直接接続する場合 P116 に選ぶモードです。パソコンに接続する場合は、[パソコン接続] を選んでください。
- カメラの動作モードは、モードスイッチの位置に関わらずUSB接続モードになりますが、レンズが収納されたまま電源がオンになる ▶ モードで使用することをおすすめします。
- 初回接続時は、自動的にパソコンがカメラを認識する動作をを行うため、[新しいハードウェアが見つかりました] ウィザードが表示される場合があります。設定が終わると消えますので、そのままお待ちください。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示された場合は、[次へ] をクリックし、画面の指示に従ってください。
  「検索ウィザードの完了」画面が表示されたら、[完了] をクリックします。
- Windows XPをお使いで、[マス ストレージ] を選んだ場合に、OS側の自動再生ウィザードが表示された場合は、[何もしない] を選び、[OK] をクリックします。

## 6 カメラがリムーバブルディスクとして認識されます。

**2 画像ファイルをパソコンへコピーする** P112 へ進んでください。

## 2 画像ファイルをパソコンにコピーする(リーダ／ライタ接続)

市販の画像編集ソフトなどを使って、画像ファイルを編集する場合は、以下の操作で画像ファイルを任意の場所(マイドキュメント内など)へコピーしてから行うことをおすすめします。

**1** **1 USBケーブルでパソコンと接続する** P109 に従い、カメラとパソコンを接続します。

液晶モニターに**USB**と表示され、カメラがリムーバブルディスクとして認識されます。

**1 USBケーブルでパソコンと接続する 5** P111 **では、[パソコン接続]を選んでください。**

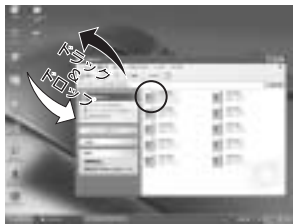
**2**

[マイコンピュータ]を開き、[リムーバブルディスク]をダブルクリックして開きます。

・[リムーバブルディスク]が表示されていない場合は、**故障とお考えになる前に** P126 をご覧ください。

**3**

[DCIM]フォルダをダブルクリックして開きます。

**ファイル番号をリセットする** P71 などの操作で、新しいフォルダを作成していない場合は、[100_HCAM]フォルダのみ表示されます。

**4**

コピーしたい画像の入っているフォルダをダブルクリックして開きます

●詳しいフォルダ構造については、**メモリーカード内のフォルダ構造** P134 をご覧ください。

**5**

パソコンにコピーする(取り込む)画像ファイルをフォルダ内から選び、任意の場所(マイドキュメント内など)にドラッグ&ドロップしてコピーします。

・同様に任意の場所(マイコンピュータなど)から任意のデータを、フォルダ(カメラ)内にドラッグ&ドロップしてコピーすることができます。

**ドラッグ&ドロップ・・・**

マウスを使った操作法の一つで、マウス操作によってデータやファイルの移動を行うこと。
画面上でマウスポインタがファイルのアイコンなどに重なった状態でマウスのボタンを押し、そのままの状態でマウスを移動(ドラッグ)させ、別の場所でマウスのボタンを離す(ドロップ)こと。

●コピー(通信)中は、カメラの動作確認用ランプ(レッド)が点灯します。
コピー(通信)中はUSBケーブルを抜いたり、カメラの電源をオフにしたりなど、カメラの操作をしないでください。記録されているデータが破損する恐れがあります。

●フォルダ(カメラ)内に任意のデータをコピーした場合、コピーしたデータは**フォーマットする** P105 操作を行うと、すべて消去されてしまいます。操作には十分ご注意ください。

●コピー先に同じファイル名の画像がある場合は、元の画像を上書きしてもよいか確認するメッセージが表示されます。上書きすると、元のファイルは消去されます。

## 3 カメラを取り外すときは

カメラを取り外すときは、必ず以下の手順に従って操作してください。この操作を行なわずにカメラの電源をオフにしたり、カメラを取り外したりする(USBケーブルを抜く)と、パソコンが正常に動作しなくなったり、記録されているデータが破損する恐れがあります。

**1** カメラを利用しているアプリケーションをすべて終了します。

**2** タスクバー上の[ハードウェアの取り外し]アイコンをクリックし、取り外すドライブを選んで[停止します(取り外します)]をクリックします。

タスクバー

〈Windows XPの場合〉 USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を安全に取り外します

〈Windows 2000の場合〉 USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (J:) を停止します

〈Windows Meの場合〉 USB ディスク - ドライブ (E:) の停止

- [停止します(取り外します)]をクリックした際に、「カメラを停止できません」という警告画面が表示される場合があります。その場合は、カメラとパソコンが通信中でないことを確認し、カメラを取り外します。
- [ハードウェアの取り外し]アイコンは、OSの設定によっては非表示になる場合があります。

**3** 「安全に取り外すことができます」ダイアログが表示されたら、[OK]をクリックします。

(Windows XPでは[OK]のクリックは不要です。)

**4** カメラの電源をオフにしてから、カメラを取り外します。



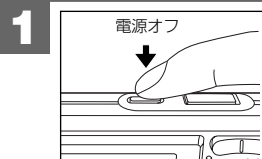
# プリント編

PictBridgeに対応したプリンタに直接接続して、撮影した画像をプリントする方法について説明します。

PictBridge(ピクトブリッジ)はカメラ映像機器工業会(CIPA)制定の規格です。

本製品は、USBケーブル(付属)を使って、PictBridgeに対応したプリンタに直接接続し、本機の液晶モニター上で、プリントする画像を選んだり、プリントの開始を指示することができます。

## USB(PictBridge)接続時のご注意

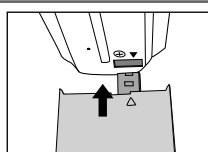
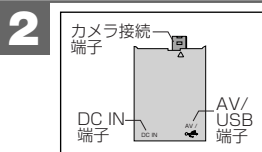
- プリンタがPictBridgeに対応していない場合は、本機能を使用することはできません。
- カメラとプリンタを接続する場合は、必ずカメラの電源をオフにして行ってください。また、プリンタの状態(インク残量など)を事前に確認してください。インク残量が少なくなっている場合などは、「エラー」などの警告表示が表示され、正しく動作しない場合があります。
- USB接続中は**オートパワーオフ機能** P34 ははたらきません。
- カメラとプリンタを接続する場合は、バッテリー残量が十分にあることを必ず確認してください。
  プリンタとの接続中は、オートパワーオフ機能などははたらきませんが、バッテリー残量がなくなると、カメラは途中で電源がオフになります。
  プリント中にカメラの電源がオフになると、プリンタが正常に動作しなくなったり、記録されているデータが破損する恐れがあります。
  プリントには時間がかかる場合がありますので、ACアダプター(付属)でのご使用 P69 をおすすめします。
- 電源はプリンタから供給されません。
- プリント中はUSBケーブルを抜いたり、カメラの電源をオフにしたりなど、カメラの操作をしないでください。記録されているデータが破損する恐れがあります。

**1**

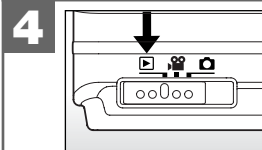
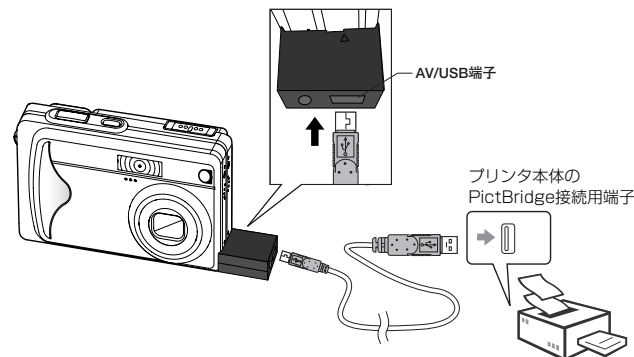
カメラの電源がオフになっているか確認します。オフになっていない場合は、電源スイッチを押して電源をオフにします。

**2**

変換アダプター(付属)のカメラ接続端子を図の向きで、カメラ本体に差し込みます。

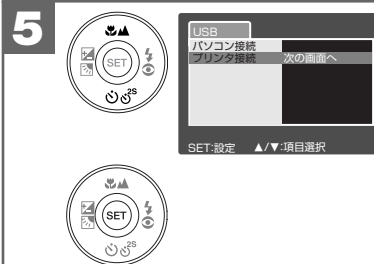
**無理に差し込まないでください。**

**3**

**USBケーブルの大きいコネクタをプリンタ本体のPictBridge接続用端子へ接続し、小さいコネクタを変換アダプターのUSB端子(AV兼用)へしっかりと接続します。**

**4**

**モードスイッチを ▶ にして、カメラの電源をオンにします。**

[USB] メニュー(USB接続モードの選択画面)が表示されます。

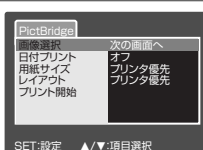
- プリンタの電源がオフの場合は、[USB] メニューは表示されません。
- カメラの動作モードは、モードスイッチの位置に関わらずUSB接続モードになりますが、レンズが収納されたまま電源がオンになる ▶ モードで使用することをおすすめします。

**5**

**【▲】【▼】で[プリンタ接続]を選び、**

**SETを押します。**

[PictBridge] メニューが表示されます。

プリント編

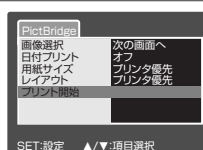
## 6

**【▲】【▼】で設定したい項目を選び、**

**SETを押して設定します。**

## [PictBridge] メニューで設定できる項目

| メニュー項目 | 内　　容 |
|---|---|
| 画像選択 | [1枚ずつ選ぶ]･･･プリントしたい画像やプリント枚数（0枚〜99枚）を1枚ずつ選びます。<br>[すべての画像]･･･すべての画像を1枚ずつプリントします。<br>[終了]･･･<br>**●プリントするために必ず設定する項目です。**<br>**●動画像は選択できません。** |
| 日付プリント | [オン]／[オフ]･･･日付プリントのオン／オフを設定します。<br>**●日付プリントの形式を設定することはできません。**<br>**●プリンタが日付プリントに対応していない場合は、[オン]は表示されません。**<br>**●日付プリントの設定は、プリンタ側の設定内容に関わらず、カメラ側の設定内容が優先されます。** |
| 用紙サイズ | [プリンタ優先]･･･プリンタの設定が優先されます。<br>[L] 89mm×127mm ／ [2L]127mm×178mm<br>[A4] 210mm×297mm<br>[4″x6″] 101.6mm×152.4mm<br>[8″x10″] 203.2mm×254mm<br>[10x15cm] 100×150mm ／ [カード] 54mm×85.6mm<br>[レター] 216mm×279.4mm ／ [はがき] 100mm×148mm<br>**プリンタが対応しているサイズのみ表示されます。** |
| レイアウト | [プリンタ優先]･･･プリンタの設定が優先されます。<br>[1面フチなし]<br>[1面フチあり]<br>[2面]<br>[4面]<br>**プリンタが対応しているレイアウトのみ表示されます。** |



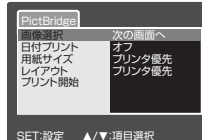
## 7

**設定したい項目を設定したら、【▲】【▼】で［プリント開始］を選び、**

**SETを押します。**

“プリント中”と表示され、プリントが開始されます。

**「エラー」などの警告表示が表示された場合は､プリンタの状態(インク残量など)を再度確認してください。**

プリントが終了すると、“プリント終了”と表示され、

[PictBridge] メニューに戻ります。

## 8

**プリントが終了したら、カメラの電源をオフにして、カメラを取り外します。**

# 付録

## ■ 故障とお考えになる前に

### 電池・電源

| 症状 | 原因 | 処置 |
| --- | --- | --- |
| 電源がオンにならない。 | ●電源スイッチを押す操作が短すぎた。 | →もう一度しっかりと電源スイッチを押す。P34 |
| | ●バッテリーが正しく入っていない。 | →バッテリーを正しく入れる。P28 |
| | ●バッテリーが消耗している。 | →バッテリーを充電する P30 か、十分に充電されたバッテリーを使う。 |
| | ●内部システムなどの誤動作。 | →バッテリーを5秒以上取り外し、もう一度バッテリーを正しく入れてから、電源をオンにする。 |
| バッテリーの消耗が早い。 | ●温度が極端に低いところで使用している。 | — |
| | ●高解像度、ストロボ撮影を多用している。 | — |
| | ●再生モードを多用している。 | — |
| 電源が途中でオフになる。 | ●オートパワーオフ機能 P34 がはたらいた。 | →もう一度電源をオンにする。P34 |
| | ●バッテリーが消耗している。 | →バッテリーを充電する P30 か、十分に充電されたバッテリーを使う。 |
| 電池の残量表示が正しく表示されない。 | ●温度が極端に高いまたは低いところで使用している。 | — |
| | ●バッテリーが消耗している。 | →バッテリーを充電する P30 か、十分に充電されたバッテリーを使う。 |
| | ●ストロボ充電している。 | →充電が終わるまでお待ちください。 |

### 静止画・動画を撮る

| 症状 | 原因 | 処置 |
| --- | --- | --- |
| 液晶モニターに被写体が写らない。 | ● 再生モードになっている。 | →モードスイッチを 静止画撮影モードもしくは 動画撮影モードにする。P17 |
| | ●電源がオフになっている。 | →電源をオンにする。P34 |
| | ●暗いところで撮影している。 | →なるべく明るい場所で撮影する。 |
| 撮影できない。 | ●画像記録中、ストロボ充電中にシャッターボタンを押した。 | →動作確認用ランプの点灯が終わってから撮影する。 |
| | ●静止画撮影時、 動画撮影もしくは 再生モードになっている。 | →モードスイッチを 静止画撮影モードに切り替える。P17 |
| | ●動画撮影時、 静止画撮影もしくは 再生モードになっている。 | →モードスイッチを 動画撮影モードに切り替える。P17 |
| | ●オートパワーオフ機能 P34 がはたらき、電源がオフになった。 | →もう一度電源をオンにする。P34 |
| | ●メモリーカードが入っていない。 | →メモリーカードを入れる。P32 |
| | ●メモリ残量がない。 | →画像サイズを小さくする。P75<br>→メモリーカード内の画像を消去する P54 か、別のメモリーカードと交換する P32 。 |
| | ●メモリーカードのライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチが「LOCK」になっている。(液晶モニターに「カードがプロテクトされています」が表示) | →メモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P33 |
| | ●メモリーカードのフォーマットが本機のフォーマット以外または「FAT」以外のフォーマットになっている。 | →データをバックアップ後、メモリーカードを本機でフォーマットする。P105 |

| 症状 | 原因 | 処置 |
|---|---|---|
| ストロボ撮影ができない。 | ●ストロボモードが発光禁止モードになっている。 | →ストロボモードをオートもしくは発光モードに切り替える。P44 |
| | ●撮影距離モードが風景モードになっている。 | →標準（表示なし）またはマクロモードに切り替えて、再度、ストロボ発光モードを選択する。 |
| | ●被写体が明るい。 | — |
| | ●バッテリー残量が少ない場合は、ストロボ発光モードを選んでいても、ストロボを発光しない場合があります。 | — |
| | ●バッテリーが消耗している。 | →バッテリーを充電する P30 か、十分に充電されたバッテリーを使う。 |
| ストロボ撮影したのに、撮影画像が暗い。 | ●被写体が遠い。 | →ストロボ連動範囲（約0.5m〜約2.4m（T）／約2.7m（W））で撮影する。 |
| 画像がぼやけている。 | ●ストロボに指がかかっている。 | →カメラを正しく構える。 |
| | ●被写体が近すぎる。 | →撮影可能範囲（マクロ時：約6cm以上、標準時：約100cm以上）で撮影する。 |
| | ●レンズが汚れている。 | →レンズをメンテナンスする。 |
| | ●画像ブレ・手ぶれ | →画像サイズを小さくする。P75<br>→カメラが動かないように固定して撮影する。 |
| 画像にノイズがある。 | ●パソコンの近くや電磁波の強い場所で撮影している。 | — |
| 動画撮影時に撮影が途中でストップする。 | ●撮影に必要なメモリ残量がない。 | →メモリーカード内の画像を消去するか P54 、別のメモリーカードと交換する P32 。 |
| 静止画／動画が見れるのに撮影できない。 | ●バッテリーが消耗している。 | →バッテリーを充電する P30 か、十分に充電されたバッテリーを使う。 |

## 静止画・動画を見る

| 症状 | 原因 | 処置 |
|---|---|---|
| 再生できない。 | ●▶ 再生モードになっていない。 | →モードスイッチを ▶ 再生モードにする。P17 |
| | ●他のデジタルカメラで撮影した画像や、パソコンで名前を変更したり、加工した画像は本機で再生できない場合があります。 | — |

## 画像／データを消去する

| 症状 | 原因 | 処置 |
|---|---|---|
| 消去できない。 | ●SDメモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが「LOCK」になっている。（液晶モニターに「カードがプロテクトされています」が表示） | →メモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P33 |
| | ●画像プロテクトが設定されている。 | →画像プロテクトの設定を解除する。P98 |
| 誤って消去してしまった。 | ●一度消去したファイルは元に戻せません。 | — |

## テレビを使って再生／撮影する

| 症状 | 原因 | 処置 |
|---|---|---|
| テレビに画像が表示されない。 | ●テレビの入力切り替えが正しく設定されていない。 | →テレビの入力切り替えをビデオ入力モードにする。 |
| | ●AVケーブルが正しく接続されていない。 | →テレビとカメラからAVケーブルを抜いて、もう一度しっかりと接続する。P61 |
| テレビの画像が乱れている（カラーにならないなど）。 | ●［ビデオモード］の設定が［PAL］になっている。 | →［NTSC］に切り替える。P59 |

## 画像ファイルをパソコンにコピーする

| 症状 | 原因 | 処置 |
|---|---|---|
| カメラがパソコンに認識されない。（[リムーバブルディスク]が表示されないなど） | ●付属のUSBケーブルを使用していない。 | →付属のUSBケーブルを使う。 |
| | ●USBケーブルが正しく接続されていない。 | →パソコンとカメラからケーブルを抜いてもう一度しっかりと接続する。<br>→他のUSBポートに接続する。 |
| | ●パソコンのUSBポートに他の機器が接続されている。 | →キーボード／マウス以外は取り外す。 |
| | ●パソコンのUSB機能が有効になっていない。<br>[デバイスマネージャ]を開き、[USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ]を確認してください。 | →[USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ]が表示されていないときは、USB機能は無効です。詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照の上、有効に設定してください。<br>→[USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ]に黄色い「！」や赤い「×」マークが付いているときは、USB機能は動作していません。詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照の上、有効に設定してください。 |
| USB接続してもカメラの電源がオフになる。 | ●USBケーブルが正しく接続されていない。 | →パソコンとカメラからケーブルを抜いて、もう一度しっかりと接続する。<br>→他のUSBポートに接続する。 |
| | ●カメラとパソコンをUSBハブ経由で接続している。 | →USBハブなどを介さずにパソコン本体に直接接続する。 |
| カメラを取り外したときに、警告メッセージが表示された。 | ●通信中にカメラを取り外した。 | →内部のデータが破損する恐れがあります。<br>必ずカメラとパソコンが通信していないことを確認してから、カメラを取り外してください。 |
| | ●「カメラ取り外す」操作を行わないでカメラを取り外した。 | →「カメラを取り外すときは」P114に従って操作する。 |

**〈デバイスマネージャ〉**
[デバイスマネージャ]は、[マイコンピュータ]から右クリックで[プロパティ]を選ぶか、[コントロールパネル]から[システム]をダブルクリックして、[システムのプロパティ]から開きます。

## PictBridge対応プリンタでプリントする

| 症状 | 原因 | 処置 |
|---|---|---|
| プリンタと接続できない。(認識しない、[PictBridge]メニューが表示されないなど) | ●プリンタがPictBridgeに対応していない場合は、本機能は使用できません。 | →詳しくはプリンタの取扱説明書で確認してください。 |
| | ●プリンタの電源がオフになっている。 | →プリンタの電源をオンにする。 |
| | ●[USB]メニューで、[パソコン接続]を選んでいる。 | →再度接続し直し、[プリント接続]を選ぶ。 |
| | ●接続状態によっては、接続が確立できない場合があります。（システムの誤動作など） | →USBケーブルを抜いて、接続し直す。プリンタにエラーが表示されている場合は、プリンタの取扱説明書をご参照ください。 |
| プリントできない。 | ●プリンタがPictBridgeに対応していない場合は、本機能は使用できません。 | →詳しくはプリンタの取扱説明書で確認してください。 |
| | ●USBケーブルが正しく接続されていない。 | →プリンタとカメラからUSBケーブルを抜いて、もう一度しっかりと接続する。P116 |
| | ●プリンタのPictBrige接続用端子に接続されていない。 | →PictBridge接続用端子に接続する。詳しくはプリンタの取扱説明書をご参照ください。 |
| | ●プリンタの電源がオフになっている。 | →プリンタの電源をオンにする。 |
| | ●プリンタが何らかのエラーを起こしている。（液晶モニターにエラーメッセージが表示） | →接続しているプリンタの状態を確認する。 |
| | ●プリント中にカメラの電源をオフにした。 | →USBケーブルを抜いて、接続し直す。それでも復帰しない場合は、USBケーブルをもう一度抜いて、プリンタの電源を入れ直してから再度接続し直してください。 |
| プリントが途中で中断する。 | ●プリントが終了する前に、USBケーブルを抜いたり、カメラの電源をオフにすると、プリントが正しく終了しない場合があります。 | — |
| 日付プリントができない。 | ●プリンタが日付プリントに対応していない場合は、日付プリントできません。 | →詳しくはプリンタの取扱説明書で確認してください。 |
| | ●印刷可能な撮影日時情報が入っていない画像ファイルは、日付のプリントはできません。 | — |

| 症状 | 原因 | 処置 |
|---|---|---|
| フチなしや2面、4面プリントができない（選択できない）。 | ●プリンタが、フチなし、2面、4面プリントに対応していない場合は、フチなし、2面、4面プリントできません。 | →詳しくはプリンタの取扱説明書で確認してください。 |
| プリントしたい用紙サイズが選択できない。 | ●プリンタが指定した用紙サイズに対応していない場合は、選択できません。 | →詳しくはプリンタの取扱説明書で確認してください。 |
| プリントを中止すると他の操作ができない。 | ●プリンタが印刷中止を処理しているので、完了するまでお待ちください。（プリンタによって時間がかかる場合があります。） | — |

## その他

| 症状 | 原因 | 処置 |
|---|---|---|
| 表示言語が英語になっている。 | ●［表示言語（Language）］が［English］なっている。 | →［表示言語］を［日本語］に切り替える。P64 |
| 液晶モニターに黒い点が現れる。または、白や赤、青、緑の点が消えない。 | ●液晶の性質による現象 | →故障ではありません。液晶モニターのみに現れるもので、記録されません。 |
| カメラの操作ができない。（ファインダーランプの点灯が消えないなど） | ●内部システムやメモリーカードなどの誤動作 | →バッテリーを取り外し、しばらく放置してからバッテリーを入れ直す。<br>→メモリーカードをカメラから取り出し、もう一度しっかりと入れる。P32<br>→別のメモリーカードと交換し、確認する。<br>→お買い上げご販売店へご相談ください。 |
| | ●バッテリーが消耗している。 | →バッテリーを充電する P30 か、十分に充電されたバッテリーを使う。 |
| レンズが収納されない。 | ●バッテリーが消耗している。 | →バッテリーを充電する P30 か、十分に充電されたバッテリーを使う。再度電源をオン／オフにしても、レンズが収納されない場合は、電源オン/オフの操作を数回繰り返して行ってください。 |
| ディスプレイ表示が突然消える。 | ●オートパワーオフ機能 P34 がはたらいた。 | — |



## 警告表示など

| 表示 | 原因 | 処置 |
|---|---|---|
| カードがプロテクトされています | ●メモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが「LOCK」になっている。 | →メモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P33 |
| プロテクトされています | ●画像プロテクトが設定されている。 | →画像プロテクトの設定を解除する。P98 |
| メモリ残量が有りません | ●メモリーカードのメモリ残量がない。 | →画像サイズを小さくする。P75<br>→メモリーカード内の画像を消去する P54 か、別のメモリーカードと交換する P32。 |
| 画像がありません | ●再生できる画像ファイルが入っていない。 | →本機で撮影する。 |
| バッテリーカバーが開いています | ●電源オンの状態で、バッテリー／メモリーカードカバーを開いた。 | →バッテリー／メモリーカードカバーを開く場合は、必ずカメラの電源をオフにして行ってください。記録されたデータが破損する恐れがあります。 |
| 用紙なし | ●接続しているプリンタが、用紙切れエラーを起こしている。 | →接続しているプリンタの状態を確認する。 |
| インクなし | ●接続しているプリンタが、インク切れエラーを起こしている。 | →接続しているプリンタの状態を確認する。 |
| 紙詰まり | ●接続しているプリンタが、紙詰まりエラーを起こしている。 | →接続しているプリンタの状態を確認する。 |
| プリントエラー | ●接続しているプリンタが、何らかのエラーを起こしている。 | →接続しているプリンタの状態（用紙関連やインク関連を含む）を確認する。<br>→プリントしたい画像が壊れていないか確認する。 |

## ■ 仕様

| 有効画素数 | | 約500万画素 |
|---|---|---|
| 撮像素子 | | 1/2.5インチCCDイメージセンサー（総画素数：約519万画素） |
| 記録媒体 | | SDメモリーカード（32/64/128/256/512MB対応） |
| 静止画 | 記録画像ファイルフォーマット | JPEG準拠（DCF1.0、EXIF2.2準拠） |
| | 記録画素数 | 2560×1920ピクセル（約500万画素）／2048×1536ピクセル（約315万画素）／1280×960ピクセル（約123万画素）／640×480ピクセル（約31万画素） |
| | 圧縮率 | ファイン（低圧縮（1/4）モード）／スタンダード（標準圧縮（1/8）モード）／エコノミー（高圧縮（1/16）モード） |
| 動画 | 記録画像ファイルフォーマット | AVI<br>（画像データ：Motion JPEG、音声：WAV（PCM方式）／モノラル） |
| | 記録画素数 | 640×480ピクセル／320×240ピクセル |
| | フレームレート | 15フレーム/秒 |
| | 圧縮率 | ファイン（低圧縮モード）／スタンダード（標準圧縮モード） |
| 音声ファイルフォーマット | | WAV（PCM方式）、モノラル |
| レンズ | 構成 | 5群6枚（非球面レンズ2枚） |
| | 焦点距離［35mmフイルム換算］ | f=5.4（W）～16.2（T）mm［32（W）～96（T）mm］ |
| | F値（最大値） | F2.8（W）/F4.8（T） |
| オートフォーカス方式 | | TTLコントラスト方式 |
| ズーム | | 光学ズーム：3倍、デジタルズーム：4倍（光学ズーム併用時最大12倍） |
| 液晶モニター | | 2.5型低温ポリシリコンTFTカラー液晶、<br>約20万画素（882x228ピクセル） |
| 撮影可能範囲 | | 標準：約50cm～∞、マクロ：約6（W）/約35（T）cm～∞ |
| マクロ時最大撮影範囲 | | 約80×約60mm（W）、約128×約96mm（T） |
| シャッター | | メカニカルシャッター、1/2～1/1000秒 |
| 撮像感度 | | オート（ISO50～200相当）／ISO50／100／200相当 |
| 測光方式 | | 中央部重点平均測光、スポット測光（中央固定） |
| 露出 | 制御方式 | プログラムAE |
| | 補正 | −2.0EV～+2.0EV（1/3EVステップ）、逆光補正 |
| ホワイトバランス | | オート／プリセット（白熱灯／蛍光灯1／蛍光灯2／晴天／曇天）／マニュアル |
| ストロボ | 連動範囲（推奨） | 約0.5m～約2.7（W）/約2.4（T）m |
| | 発光モード | オート／赤目軽減（オート）／強制発光／発光禁止／夜景 |
| マイク | | 内蔵型 |
| スピーカー | | 内蔵型（モノラル） |
| セルフタイマー（タイマー時間） | | 10秒／2秒／10秒+2秒 |
| 撮影モード | | シングル（通常）撮影、連写撮影（最大3枚、約0.6秒間隔）、<br>AE連写撮影（3枚連写）、ボイスメモ撮影（最大約30秒間）、<br>動画（音声付き）撮影 |
| 再生モード | | シングル再生（1倍/2倍/4倍、画像回転）、インデックス再生、<br>スライドショー再生、ボイスメモ再生、動画再生 |
| ダイレクトプリント | | PictBridge対応 |
| オートパワーオフ | | 1分間/2分間/3分間 |
| インターフェース | | USB端子（USB（1.1仕様、mini-B）、AV出力（NTSC/PAL）、<br>DC入力（DC 3.0A/5.0V））（※1） |
| 電源 | | 専用充電式リチウムイオンバッテリーHLB-1（付属、DC3.7V/650mAh）、<br>専用ACアダプター（付属、AC100V～240V対応） |
| 外形寸法 | | 幅88.5×奥行24×高さ54.5mm（突起部除く） |
| 質量 | | 約130g（電池、付属品除く） |
| 使用条件 | | 0℃～40℃、湿度90%以下（結露しないこと） |

（※1）AV出力及びDC入力の接続には専用変換アダプターが必要です。

### 付属品

SDメモリーカード64MB、専用ACアダプター（HDC531-001）、専用変換アダプター（HDC531-002）、専用充電式リチウムイオンバッテリー（HLB-1）、専用USBケーブル、専用AVケーブル、ネックストラップ、カメラポーチ、クリーナー（ペット型）、取扱説明書（保証書付）

### 画像記録枚数・時間／データサイズ（※2）

| 記録画素数（ピクセル） | JPEG圧縮率 | 1コマのデータサイズ | SDメモリーカード64MB（付属） |
|---|---|---|---|
| 2560×1920（約500万画素） | ファイン | 約2250KB | 約26枚 |
| | スタンダード | 約1330KB | 約45枚 |
| | エコノミー | 約720KB | 約84枚 |
| 2048×1536（約315万画素） | ファイン | 約1330KB | 約45枚 |
| | スタンダード | 約820KB | 約72枚 |
| | エコノミー | 約410KB | 約145枚 |
| 1280×960（約123万画素） | ファイン | 約720KB | 約84枚 |
| | スタンダード | 約410KB | 約145枚 |
| | エコノミー | 約225KB | 約252枚 |
| 640×480（約31万画素） | ファイン | 約205KB | 約290枚 |
| | スタンダード | 約135KB | 約420枚 |
| | エコノミー | 約75KB | 約756枚 |
| 640 x 480【動画】 | ファイン | 約770（KB/秒） | 約80秒 |
| | スタンダード | 約570（KB/秒） | 約108秒 |
| 320 x 240【動画】 | ファイン | 約300（KB/秒） | 約209秒 |
| | スタンダード | 約195（KB/秒） | 約312秒 |

（※2）画像記録枚数・時間及びデータサイズはあくまでも目安であり、被写体や撮影条件によって異なります。

### バッテリー性能（電池寿命の目安）（※3）

| 使用電池 | 撮影可能枚数<br>CIPA（※4） | 再生時間<br>（※5） |
|---|---|---|
| 充電式リチウムイオンバッテリーHLB-1（付属） | 約100枚 | 約70分 |

（※3）温度23℃／湿度50％、液晶モニターオン、SDメモリーカード使用、バッテリーフル充電時で、以下の条件で撮影・再生した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証撮影枚数・時間ではありません。ご使用の状況や環境によって少ない数値になる場合があります。
（※4）CIPA（カメラ映像機器工業会）規格による撮影条件
・30秒間隔でズームのワイド端（広角側）とテレ端（望遠側）で交互に撮影
・ストロボを2回に1回発光
・10枚撮影ごとに電源をオフにし、バッテリーをはずして10分間放置
（※5）約3秒１コマを連続で再生した場合

### 専用充電式リチウムイオンバッテリー（HLB-1）

| | |
|---|---|
| 定格電圧 | 3.7V |
| 定格容量 | 650mAh |
| 使用温度 | 0℃～40℃ |
| 外形寸法 | 幅31.3×奥行6.9×高さ43.8mm |
| 質量 | 約17g |

・**バッテリー使用時のご注意** P12 をあわせてお読みください。
・本バッテリーは別売アクセサリーとしてお求め頂けます。

### 専用ACアダプター（HDC531-001）

| | |
|---|---|
| 定格入力 | AC100～240V(50Hz／60Hz) |
| 定格出力 | DC3.0A／5.0V |
| 使用温度 | 0℃～40℃ |
| 外形寸法 | 幅36×奥行46.5×高さ75mm（突起部・コード部除く） |
| 質量 | 約185g |

・**ACアダプター使用時のご注意** P13 をあわせてお読みください。



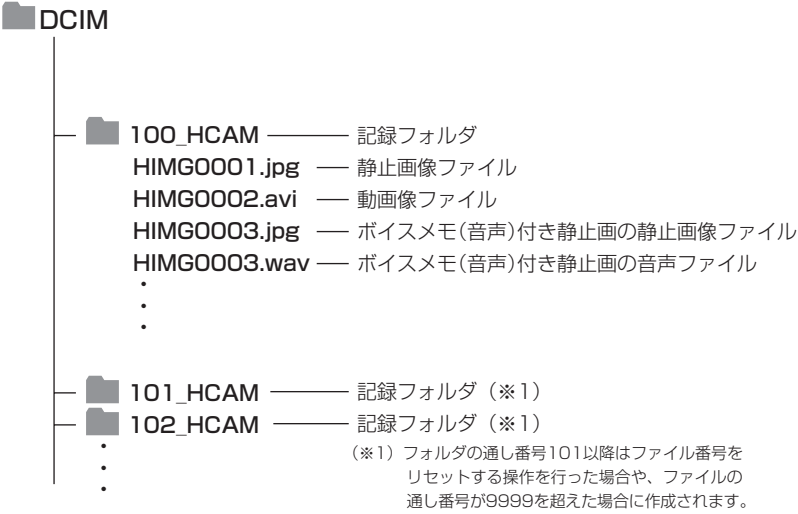
## ■ メニュー項目と設定内容

【　】：初期設定

| 動作モード | メニュー | 設定項目 | 設定内容 |
|---|---|---|---|
| 静止画撮影モード | 撮影メニュー | 画像サイズ P75 | 【2560x1920】／2048x1536／1280x960／640x480 |
| | | 画質 P75 | 【ファイン】／スタンダード／エコノミー |
| | | シャープネス P91 | ハード／【ノーマル】／ソフト |
| | | コントラスト P92 | ハード／【ノーマル】／ソフト |
| | | 色効果 P82 | 【スタンダード】／鮮明／セピア／白黒 |
| | | ホワイトバランス P80 | 【オート】／白熱灯／蛍光灯1／蛍光灯2／晴天／曇天／マニュアル |
| | | マニュアルWB P81 | 白データ取り込み |
| | | ISO感度 P93 | 50／100／200／【オート】 |
| | | 測光方式 P94 | 【マルチ】／スポット |
| | 機能メニュー | 撮影モード P86 | 【シングル】／連写／AE連写 |
| | | ボイスメモ P83 | オン／【オフ】 |
| | | LCDの明るさ P73 | −5／−4／−3／−2／−1／【0】／+1／+2／+3／+4／+5 |
| | | デジタルズーム P43 | 【オン】／オフ |
| | | プレビュー P74 | 【オン】／オフ |
| | | 日付プリント P95 | オン／【オフ】 |
| | 設定メニュー | 操作音 P66 | 【オン】／オフ |
| | | 番号リセット P71 | 画像ファイル番号をリセットします。 |
| | | 日付／時刻 P35 | 日付／時刻の設定画面を表示します。 |
| | | オートパワーオフ P67 | 【1分】／2分／3分 |
| | | 初期設定に戻す P37 | 各設定内容を初期設定に戻します。 |
| | | 表示言語 P64 | 日本語／English（英語）／Français（フランス語）／Español（スペイン語）／Italiano（イタリア語）／繁體中文（中国語1）／简体中文（中国語2） |
| 動画画撮影モード | 撮影メニュー | 画像サイズ P75 | 【640x480】／320x240 |
| | | 画質 P75 | ファイン／【スタンダード】 |
| | | コントラスト P92 | ハード／【ノーマル】／ソフト |
| | | 色効果 P82 | 【スタンダード】／鮮明／セピア／白黒 |
| | 機能メニュー | LCDの明るさ P73 | −5／−4／−3／−2／−1／【0】／+1／+2／+3／+4／+5 |
| | 設定メニュー | 操作音 P66 | 【オン】／オフ |
| | | 番号リセット P71 | 画像ファイル番号をリセットします。 |
| | | 日付／時刻 P35 | 日付／時刻の設定画面を表示します。 |
| | | オートパワーオフ P67 | 【1分】／2分／3分 |
| | | 初期設定に戻す P37 | 各設定内容を初期設定に戻します。 |
| | | 表示言語 P64 | 日本語／English（英語）／Français（フランス語）／Español（スペイン語）／Italiano（イタリア語）／繁體中文（中国語1）／简体中文（中国語2） |
| 再生モード | 再生メニュー | スライドショー P97 | スライドショー再生を開始します。 |
| | | 画像プロテクト P98 | 画像プロテクト設定画面を表示します。 |
| | | LCDの明るさ P73 | −5／−4／−3／−2／−1／【0】／+1／+2／+3／+4／+5 |
| | 設定メニュー | 操作音 P66 | 【オン】／オフ |
| | | フォーマット P105 | メモリーカードをフォーマットします。 |
| | | 番号リセット P71 | 画像ファイル番号をリセットします。 |
| | | カード情報 P32 | 使用SDメモリーカードのカードサイズ、メモリ残量を表示します。 |
| | | システム情報 | バージョン情報を表示します。 |
| | | 表示言語 P64 | 日本語／English（英語）／Français（フランス語）／Español（スペイン語）／Italiano（イタリア語）／繁體中文（中国語1）／简体中文（中国語2） |
| | | ビデオモード P59 | NTSC／PAL |

## ■ メモリーカード内のフォルダ構造

DCIM
- 100_HCAM ―― 記録フォルダ
  - HIMG0001.jpg ―― 静止画像ファイル
  - HIMG0002.avi ―― 動画像ファイル
  - HIMG0003.jpg ―― ボイスメモ(音声)付き静止画の静止画像ファイル
  - HIMG0003.wav ―― ボイスメモ(音声)付き静止画の音声ファイル
  - ・
  - ・
  - ・
- 101_HCAM ―― 記録フォルダ（※1）
- 102_HCAM ―― 記録フォルダ（※1）
- ・
- ・
- ・

（※1）フォルダの通し番号101以降はファイル番号をリセットする操作を行った場合や、ファイルの通し番号が9999を超えた場合に作成されます。



## 日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。


**修理などアフターサービスに関するご相談は**

TEL 0120−3121−68
FAX 0120−3121−87

（受付時間）365日／9:00〜19:00

**商品情報やお取り扱いについてのご相談は**

TEL 0120−8802−28
FAX 03−3260−9739

（受付時間）9:00〜17:30／携帯電話、PHSからもご利用できます。土曜・日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます

| 株式会社日立リビングサプライ：ホームページアドレス |
| --- |
| http://www.hitachi-ls.co.jp/ |